

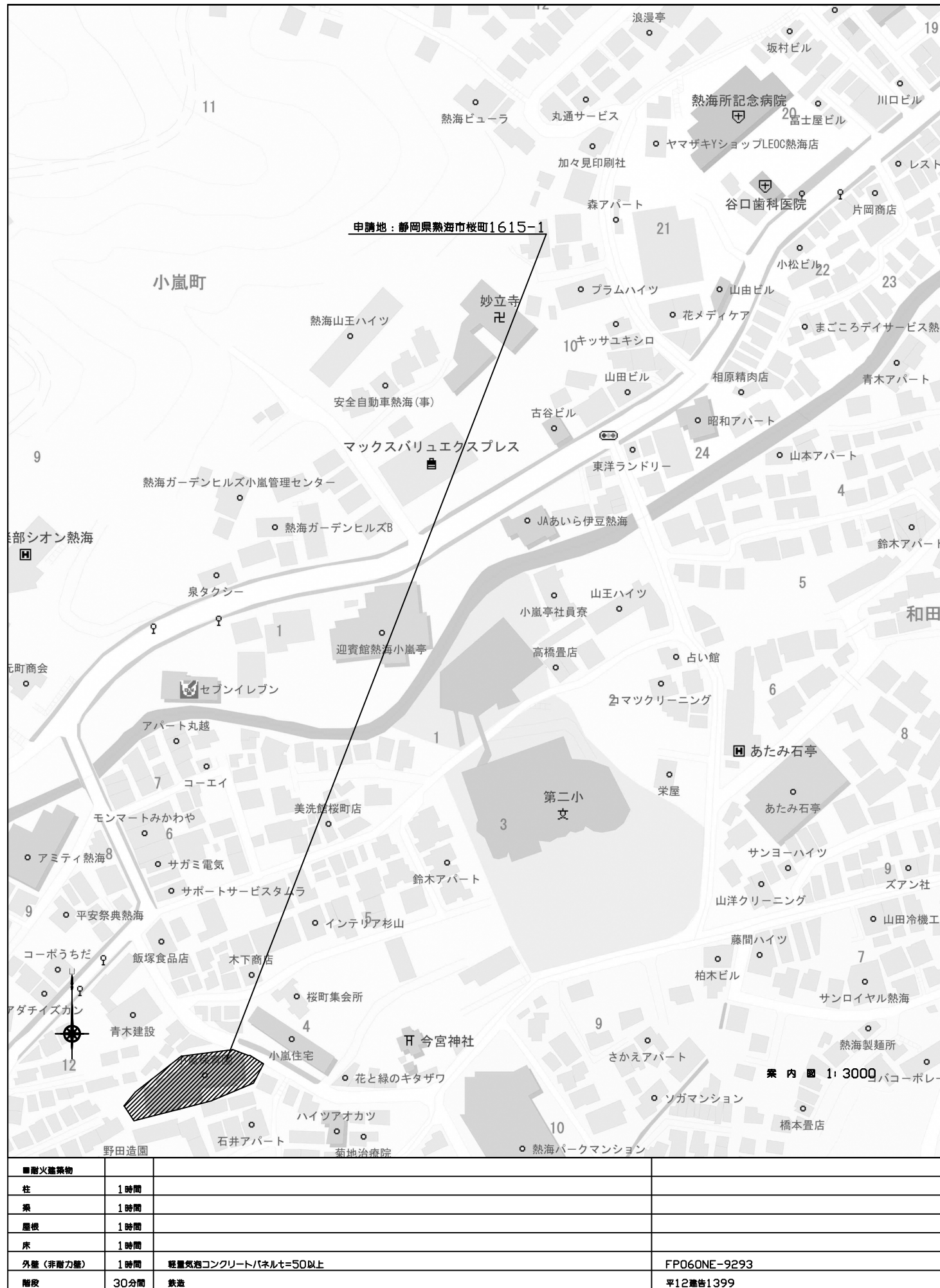
(仮称) あたみ認定こども園改修工事 (その2)

図 面 リ ス ト	
電 気 設 備 図	
E-01 図面リスト	30 幹線動力設備 地階平面図 (撤去)
02 設計概要・案内図	31 幹線動力設備 1階平面図 (撤去)
03 電気設備 特記仕様書 (1)	32 幹線動力設備 2階平面図 (撤去)
04 電気設備 特記仕様書 (2)	33 照明器具姿図 (撤去)
05 幹線・動力設備 系統図・地階平面図	34 電灯設備 地階平面図 (撤去)
06 幹線・動力設備 1階平面図	35 電灯設備 1階平面図 (撤去)
07 幹線・動力設備 2階平面図	36 電灯設備 2階平面図 (撤去)
08 動力制御盤 結線図	37 弱電設備 系統図・地階平面図 (撤去)
09 電灯設備 照明器具姿図・地階平面図	38 弱電設備 1階平面図 (撤去)
10 電灯設備 1階平面図	39 弱電設備 2階平面図 (撤去)
11 電灯設備 2階平面図	40 弱電設備 屋上平面図 (撤去)
12 非常照明・誘導灯設備 照明器具姿図・地階平面図	41 自動火災報知設備 地階平面図 (撤去)
13 非常照明・誘導灯設備 1階平面図	42 自動火災報知設備 1階平面図 (撤去)
14 非常照明・誘導灯設備 2階平面図	43 自動火災報知設備 2階平面図 (撤去)
15 コンセント設備 地階・1階平面図	
16 コンセント設備 2階平面図	
17 電灯分電盤 結線図	
18 弱電設備 系統図・地階平面図	
19 弱電設備 1階平面図	
20 弱電設備 2階・屋上平面図	
21 放送設備 系統図・地階平面図	
22 放送設備 1階平面図	
23 放送設備 2階平面図	
24 ローカル放送設備 機器姿図	
25 自動火災報知設備 系統図・地階平面図	
26 自動火災報知設備 1階平面図	
27 自動火災報知設備 2階平面図	
28 機械警備用配管設備 地階・1階平面図	
29 機械警備用配管設備 2階平面図	

設 計 概 要				
敷 地	地 名 地 番	静岡県熱海市牧田13-4	敷地面積（㎡）	1188.88㎡
	用 途 地 域	第二種住居地域	そ の 他 の	
	防 火 地 域	指定なし（法22条区域）	地 域 地 区	第1種高度地区
建 物	主 要 用 途	認定こども園	構 造	鉄筋コンクリート造
	工 事 種 別	「保育園」から「認定こども園（乳児棟）」への改修工事		耐火建築物
	階 数	地下1階、地上2階	最 高 の 高 さ（m）	
	階 高（m）	地下1階：3.200m、1階：3.550m	軒 高（m）	
面 積	建 築 面 積（㎡）	430.56	建 ぺ い 率（%）	36.22% ≤ 60%
	延 床 面 積（㎡）	792.16	容 積 率（%）	66.64% ≤ 300%
そ の 他	静岡県建築基準条例			
	静岡県福祉のまちづくり条例			

外 部 仕 上 表

部 位	仕 上
1. 屋 根	<p>下地処理工事1：ベランダバルコニー（既存防水層不良部2％）、まち風テラス（既存防水層不良部5％）</p> <p>※既存ドレン撤去・周囲モルタル成型 既存防水層不良部撤去 防水層撤去後クレン清掃 高圧洗浄（15pa）</p> <p>不陸調整（立上り用ウレタン） 平場・立上りクラック補修 ※鋼製改修用二重ドレン新設 ※部分はドレン改修部のみ、その他管理者と協議の上必要な処理を行う</p> <p>下地処理工事2：うみ風テラス（既存防水層不良部5％）、屋根（既存防水層不良部5％）</p> <p>※既存ドレン撤去・周囲モルタル成型 既存防水層（保護モルタル ゴーレックス防水 均しモルタル）撤去 防水層撤去後クレン清掃 高圧洗浄（15pa）</p> <p>不陸調整（立上り用ウレタン） 平場・立上りクラック補修 ※鋼製改修用二重ドレン新設 ※部分はドレン改修部のみ、その他管理者と協議の上必要な処理を行う</p> <p>防水工事1 X-1工法（ベランダバルコニー、うみ風テラス、まち風テラス、屋根）</p> <p>ウレタン仲介用プライマー0.1kg/㎡（田島ルーフィング 速硬化型OTプライマー-Mブルー同等） 部分粘着層付絶縁シート1.0mm（田島ルーフィング オルタックシートGS同等）</p> <p>特化則・有傷則非該当2液ウレタン塗膜防水1.8kg/㎡（田島ルーフィング オルタックエース同等） 特化則・有傷則非該当2液ウレタン塗膜防水1.8kg/㎡（田島ルーフィング オルタックエース同等）</p> <p>シリコン含有高耐久トップコート0.2kg/㎡（田島ルーフィング OTコートシリコン同等） ※タッキ部分のみ</p> <p>防水工事2 X-2工法（立上り部分のみ）</p> <p>ウレタン仲介用プライマー0.1kg/㎡（田島ルーフィング 速硬化型OTプライマー-Mブルー同等） 特化則・有傷則非該当2液ウレタン塗膜防水0.4kg/㎡（田島ルーフィング オルタックエース同等）</p> <p>メッシュ補強布（田島ルーフィング メッシュUB同等） 特化則・有傷則非該当2液ウレタン塗膜防水1.8kg/㎡（田島ルーフィング オルタックエース同等）</p> <p>特化則・有傷則非該当2液ウレタン塗膜防水1.4kg/㎡（田島ルーフィング オルタックエース同等） シリコン含有高耐久トップコート0.2kg/㎡（田島ルーフィング OTコートシリコン同等）</p>
2. バラベット	<p>既存（ゴムシート防水+モルタル仕上げ）+（ウレタン塗膜防水）撤去後</p> <p>ウレタン塗膜防水</p>
3. 庇	<p>既存 吹付タイル 水洗い清掃 下地調整の上</p> <p>防水形復層塗材（エスケー化研レナフレンドゆず肌） 吹付</p>
4. 軒 天	<p>既存 ガルバリウム鋼板（下地共）撤去後</p> <p>軽鉄下地（外部用） フレキシブルボードϕ6.0（目造）貼の上 VP</p>
5. 外 壁	<p>全面の施工数量調査を行い、必要に応じて下地モルタル等の補修をすること</p> <p>既存 吹付タイル 水洗い清掃、下地調整の上、防水形復層塗材（エスケー化研レナフレンドゆず肌） 吹付</p> <p>既存タイル 撤去後 ポリマーセメントモルタル 金ゴテ押さえにより不陸調整、下地調整の上、防水形復層塗材（エスケー化研レナフレンドゆず肌） 吹付</p> <p>既存 コンクリート壁 撤去後 ALCパネル（フラット）ϕ100 防水形復層塗材（エスケー化研レナフレンドゆず肌） 吹付</p>
6. 橋	<p>堅 橋： 既存 硬質塩ビ管100ϕ 撤去後 アルミ製114ϕ（バンドレスタイプ）（新設）</p> <p>ドレイン： 既存 鋳鉄製引きドレイン 撤去後 鋳鉄製引きドレイン（ウレタン塗膜防水用）（新設）</p>
7. 外部建具	<p>アルミ製建具： 既存 アルミ製建具 撤去後 二次電解着色（ブラック）</p> <p>鋼 製 建 具： 既存 鋼製建具 撤去後 防錆処理鋼板 ポリウレタン樹脂塗装</p>
8. シーリング	<p>サッシュ廻り： 変性シリコン系</p> <p>ALCパネル： ウレタン系</p>
9. 木製タッキ	<p>再生木材145×30 目地5mm ノンピスタイプ</p> <p>根太：スーパーダイマ40×40ϕ500、大引・束柱：スーパーダイマ40×40ϕ900（防水材に接する部分にゴムシートϕ10敷）</p>
11. 屋外遊具階段	<p>サ サ ラ： Sϕ-PL ϕ16 溶融亜鉛めっき処理の上、ポリウレタン樹脂塗装</p> <p>踏 板： Sϕ-40×20×2.3（L=230）下地の上、タッキ材（再生木材145×30）</p> <p>手 摺： Sϕ-FB ϕ9 H1200 溶融亜鉛めっき処理の上、ポリウレタン樹脂塗装</p>



 HIRINO SEKKEI	株式会社 日比野設計 一級建築士事務所 一級建築士	神奈川県知事 登録 第 2017号 建築士 第 27650号 伊東 陽子	設計設計： 橋本隆士 第 334613号 陽子 平成30年3月	Plan	Draw	Check	熱海市観光建設部まちづくり課				特記	工事名 (仮称)おたぎ認定こども園改修工事(その2)(乳児棟)	図面名 設計概要・案内図	Scale A1: - A3: -	No. E-02
				農水	浅井	伊佐地	設計								

電気設備工事特記仕様書

⑮ 電線保護物類

(1) 合成樹脂製可とう電線管（P管）及び付属品
・タイプ25を使用するものとする。
電力用位置ボックス類は、合成樹脂製又は鋼製とする。銅板製とした場合は管内に接地線を付加し当該ボックスにボンディングを施すものとする。
ただし、これにより難い場合は監督員と協議する。
(2) 金属製露出管路
次の管路は、塗装を行う。ただし、溶融亜鉛めっきを施した管路は除く。
（※ 屋外 ※ 配線室を除く屋内で見えがかり部分
(3) ケーブル配線の保護管は、標準仕様書金属管配線、合成樹脂管配線の項による。
(4) 弱電設備の管の敷設
ケーブルを収容する管路の1区間の屈曲箇所は3箇所以内で曲げ角度の合計は180°以内とする。ただし、通線及び管内の電線の引き替えが容易に行えるように施工する場合はこの限りではない。

⑯ 照明用ポール

照明用ポールは、次による。
※ 配線用遮断器又はカットアウトスイッチを敷ける。仕様についてはメーカー仕様に基づる。
・配線用遮断器又はカットアウトスイッチが内蔵できるものとする。

⑰ 配線器具

(1) スイッチは原則としてネーム付きとし、器具の場所を表示する。
(2) フラッシュプレート（〇で囲むもの）
※ 新金属 ・ ステンレス ・ 合成樹脂
(3) フロアプレートは水平高低調整付（空転防止形または工具締付形）とする。
※ アルミ製 ・ 黄銅製
(4) 発電機回路に接続されるコンセントは、原則として赤色とする。
(5) コンセントには回路番号を表示する。
(6) コンセントの送り配線は送り端子を使用せず、接続によるものとする。

⑱ 屋外の支持金物

電線管等の屋外支持金物は、原則として次による。
※ ステンレス製 ・ 亜鉛メッキ

⑲ 機器姿図

姿図の形状及び寸法は概略を示す。

電力・発電設備工事

① 防災用照明器具

建築基準法の規定による非常用照明器具は次による。（〇で囲むもの）
○ 電池内蔵形 ・ 電源別置形（・バッテリー ・ 発電機）

② 電動機等の接地

金属管配線において、電動機容量7.5 KW以下は金属管を接地線とする。

3 受変電設備

受変電キュービクル本体の耐震性は、JEM-T8144「配電盤・制御盤の耐震設計指針2003年版」（一般社団法人日本電機工業協会）における耐震機能クラス1とする。

4 雷保護設備

(1) 保護レベル ・ I ・ II ・ III ※ IV
(2) 受雷部システムの配置 ・ 保護角法 ・ 回転球体法 ・ メッシュ法

5 太陽光発電設備

太陽光発電設備特記仕様書による。

6 主燃料槽

主燃料槽は満油渡しとする。

7 太陽光発電設備

(1) 電力会社に対して必要な申請手続き（書類作成を含む）を行うこと。
(2) 電気事業法に係る手続きが必要となる場合には電気主任技術者と協力し行うこと。
(3) 電力系統との連系について電力会社と協議・確認を行い適正な安全装置を敷けること。
(4) 屋上に敷置する太陽電池アレイの耐風圧計算・耐震計算を提出し監督員の確認を受けること。
(5) 着手後速やかに当該機庫でのシステム構成図を提出し監督員の確認を受けること。
(6) 太陽電池アレイの公称出力（ kW ）
(7) パワーコンディショナの出力
出力電圧（・100V ・200V）
出力電気方式（・三相3線式・単相3線式・単相2線式）

通信・情報設備工事

① 構内情報通信網整備

学校については校内LAN工事特記仕様書による。

② テレビ共同受信装置

(1) テレビ機器収容箱
ブースターを収容する収納箱は、露出コンセント（2P15A 2口）を内蔵し、扉には放熱に有効なガラリ等を備えたものとする。
(2) アンテナマスト ○ 自立形 ・ 壁面形
・ 標準図のAの寸法（ mm）

防災設備工事

① 自動火災報知装置

(1) 受信機
・ R型 ○ P型（1）級（10）回路
予備電源付（○ 壁掛形 ・ 自立形）
複合盤の場合は図示する。
(2) 副受信機 表示窓数（ ）窓（ ）壁掛形 ・ 自立形
(3) 発信機 ・ R型 ○ P型（1）級（ ）形
(4) 機器収納箱 ○ 埋込形 ・ 露出形 ・ 消火栓箱組込形
(5) 消火栓ポンプ始動用表示灯 ・ 専用 ※ 火報と兼用

② 自動閉鎖装置

(1) 運動制御器（1）回路（複合盤の場合は図示する。）
(2) 動作仕様
ア 動作方式 ・ 多回線順次動作 ・ 単独動作
イ 防煙ダンパ ・ 手動復帰 ・ 遠方復帰

3 非常警報装置

(1) 非常警報装置 ・ 埋込形 ・ 露出形
(2) 起動装置（押しボタン） ・ 埋込形 ・ 露出形

4 ガス漏れ火災警報装置

(1) 受信機（ ）回路 予備電源付（・ 壁掛形 ・ 自立形）
複合盤の場合は図示する
・ 都市ガス ・ 液化ガス
・ AC100V ・ DC24V
(3) 中継器 確認表示灯 ・ あり ・ なし

別表

名 称

○配電盤、分電盤、制御盤、警報盤等
・ 電熱装置
・ 高圧機器類
・ 特別高圧機器類
・ 直流電源装置
・ 交流無停電電源装置（UPS）
・ ディーゼル発電装置
・ ガスエンジン発電装置
・ マイクロガスタービン発電装置
・ 燃料電池発電装置
・ 熱供給発電装置
・ 太陽光発電装置
・ 風力発電装置
・ 構内情報通信網装置
・ 構内交換装置
・ 情報表示装置
・ 映像・音響装置
・ 誘導支援装置
・ テレビ共同受信設備
・ 監視カメラ装置
・ 構内情報通信装置
・ 防犯・入退室管理装置
・ 監視制御装置
・
・

○ 印の付いたものを適用する。

表 1 接地極一覧表

接地の種類	記号	接地抵抗	接地極の規格・数量
・ 共同接地	E A・B・C・D	Ω以下	EB (D=14又はB=40) ×3連一 組
・ 共同接地	E A・C・D	10Ω以下	EB (D=14又はB=40) ×3連一 組
・ A 種	E A	10Ω以下	EB (D=14又はB=40) ×3連一 組
・ B 種	E B	Ω以下	EB (D=14又はB=40) ×3連一 組
・ B 種	E B	37.5Ω以下	EB (D=14又はB=40) ×3連一 組
・ C 種	E C	10Ω以下	EB (D=14又はB=40) ×3連一 組
・ D 種	E D	Ω以下	EB (D=14又はB=40) ×3連一 組
・ D 種	E D	100Ω以下	EB (D=10又はB=30) ×1
・ 警 保 種 用	E LA	Ω以下	EB (D=14又はB=40) × 連一 組又はEP (0.6-2
・ 高圧避雷器	E LH	10Ω以下	EB (D=14又はB=40) ×3連一 組
・ 低圧避雷器	E LL	10Ω以下	EB (D=14又はB=40) ×3連一 組
・ 交換機用	E L	10Ω以下	EB (D=14又はB=40) ×3連一 組
・ 通信機器用	E AL	10Ω以下	EB (D=14又はB=40) ×3連一 組
・ 通信機器用	E DL	100Ω以下	EB (D=10又はB=30) ×1
・ 測定用	E O	100Ω以下	EB (D=10又はB=30) ×1
・ 構造体接地		Ω以下	
・ 等電位接地		Ω以下	

注）E BでD＝14の場合はL＝1500とし、W＝40の場合はL＝1200、W＝30の場合はL＝900とする。

表 2 機器標準取付高さ

名称	測定	取付高さ (mm)	名称	測定	取付高さ (mm)	
電力計	地上～底中心	1,800～2,000	表示窓	床～中心	天井高×0.9	
引出開閉器	地上～中心	1,800～2,200	警付発信器	床～中心	1,100	
分電盤	床～中心	1,500	（上端1,900以下）	（一般）	床～中心	2,300
スイッチ	床～中心	1,100	（一般）	床～中心	1,100	
人感センサー	床～中心	1,800	（一般）	床～中心	400	
（一般）	床～中心	400	（一般）	床～中心	200	
（和室）	床～中心	200	（一般）	床～中心	900又は400	
（台所）	床～中心	150～200	（一般）	床～中心	1,800	
（土間）	床～中心	500	（一般）	床～中心	200	
（外壁・屋外）	地上～中心	800	（一般）	床～中心	400	
（一般）	床～中心	2,100～2,300	（一般）	床～中心	200	
（路場）	床～中心	2,000～2,500	（一般）	床～中心	200	
（線路上）	線路上端～中心	150	（一般）	床～中心	200	
壁掛制御盤	床～中心	1,500	（一般）	床～中心	800～1,500	
（上端1,900以下）	床～中心	1,500	（一般）	床～中心	800～1,500	
手元開閉器	床～中心	1,500	（一般）	床～中心	2,300	
動作スイッチ	床～中心	1,300	（一般）	床～中心	2,100	
室内端子盤	床～下端	300	（一般）	床～上端	300	
集合保安装置	天井下～上端	200	（一般）	床～上端	300	
警付・（一般）	床～中心	400	（一般）	床～上端	300	
アウト・（和室）	床～中心	200	（一般）	床～上端	300	
警付・（一般）	床～中心	1,500	（一般）	床～上端	300	
（上端1,900以下）	床～中心	1,500	（一般）	床～上端	300	
子母計	床～中心	天井高×0.9	（一般）	床～上端	300	
・ 電圧計	床～中心	天井高×0.9	（一般）	床～上端	300	
・ 電圧計	床～中心	1,100	（一般）	床～上端	300	

注）1. 天井高 3,000 以上の場合は、監督職員と協議する。
2. 意匠に關係する部分（正面玄関・玄関ホール・E Vホール・上級室・会議室）の取付位置は、監督職員と十分協議する。
3. 表は原則とし、施工前に監督職員の承諾を受ける。

設計書・設計図面の取扱いについて

※設計書と設計図面に相違のある場合には、設計図面を優先することとする。
※設計図書に記載のある内容を施工するために必要なものは、工事に含めることとする。

工事区分

NO. 項 目

1 仮設用の電力、上下水、ガスの使用料金、及び負担金

2 電気、上下水、下水道、ガス引込み負担金

3 本設後引き渡しまでの使用料金

4 本設後引き渡しまでの基本料金

5 はり貫通スリーブ（RC造）

6 はり貫通スリーブ（S・SRC造）

7 壁、床、貫通部スリーブ、箱入れ

8 同上貫通部スリーブ補強

9 同上貫通部孔埋め配体補強

10 二重スラブ内、連通管及び通気管、水抜き管

11 木切付スリーブ

12 機械基礎

13 機械基礎（配体と一体の基礎）

14 アンカーボルト、箱入れ、チャンネル土台

15 機械基礎用床補強

16 屋上等防水層に関する基礎及び防水仕舞

17 油断、外部及び基礎

18 工事制作腐仕切、床の孔明け取付け枠及び補強

19 天井取付器具の取付け

20 同上開口補強

21 設備機器取付け用ALC板石の孔明け及び補強

22 設備機器取付け用ブロック煉瓦の開口部取付け枠

23 天井吊り装置の吊ボルト

24 同上用〇型鋼補強

25 機械搬出入、搬付用フック

26 電気配線用ビッド兼共

27 増打軽量コンクリート及び床仕上げ

28 マシンハッチ及び床仕上げ

29 煙突

30 外部取付ガワリ

31 リターンダリル

32 ドア・ダリル

33 点検口及び仕上げ

34 マンホール

35 タフアップ

36 市水溝及び蓄熱槽の躯体及びマンホール蓋取付

37 厨房器具

38 同上フード及び排気ダクト

39 浴槽、バスユニット、洗面ユニット

40 風呂釜・バーナー、排気筒及び排気配管

41 流し台（既製品、造り付け）

42 陶器製流し

43 給排水金物及び配管

44 化粧鏡

45 湯沸器

46 クリーントラップ

47 増打軽量コンクリート

48 排水溝及びフック

49 床排水工事（目皿共）

50 屋外排水溝及び蓋

51 雨水排水工事及び金所

52 雑排水工事及び金所

53 汚水排水工事及び金所

54 下水主管への接続（雨水）

55 同上

56 電力引込みハンドホール

57 電力引込みハンドホール

58 箱込み客土及び排水層

59 植樹

60 散水栓

61 ガリントラップ

62 出入口マスト下排水管（第一金所まで）

63 煙感知器連動防火防煙シャッター（二次配管配線共）

64 煙感知器連動防煙垂れ壁（二次配管配線共）

65 煙感知器連動防火戸（二次配管配線共）

66 防火ダンパー（二次配管配線共）

67 防煙垂れ壁

68 エンジンドア

69 電動ジャック

70 エレベーター

71 エスカレーター

72 ダムエーター

73 エア・シューター

74 ゴンドラ及び制御盤一式レール共

75 電気時計

76 看板取付用下地補強及び基礎

77 庭園計及び接地工事

78 高架水櫃

79 排気扇等取付枠共

80 同上電源工事各種銘板

81 設備機器表示板

82 ベンチレーター（自然換気）

83 し尿浄化槽設備工事

84 し尿浄化槽RC配管体及び防水工事

85 避難器具

86 機械駐車装置及び制御装置

87 舞台装置

NO. 項 目

88 防火区画貫通ダクト及び配管等の防火養生

89 排煙口及び手動開放装置

90 排煙ダクト

91 空調、衛生機械2次配線工事

92 自動火災報知用発信機、ベル表示灯収納ボックス

93 空調自動制御用電気工事

工事名

（仮称）あたま認定こども園改修工事（その2）（乳児棟）

電気設備 特記仕様書（2）

Scale

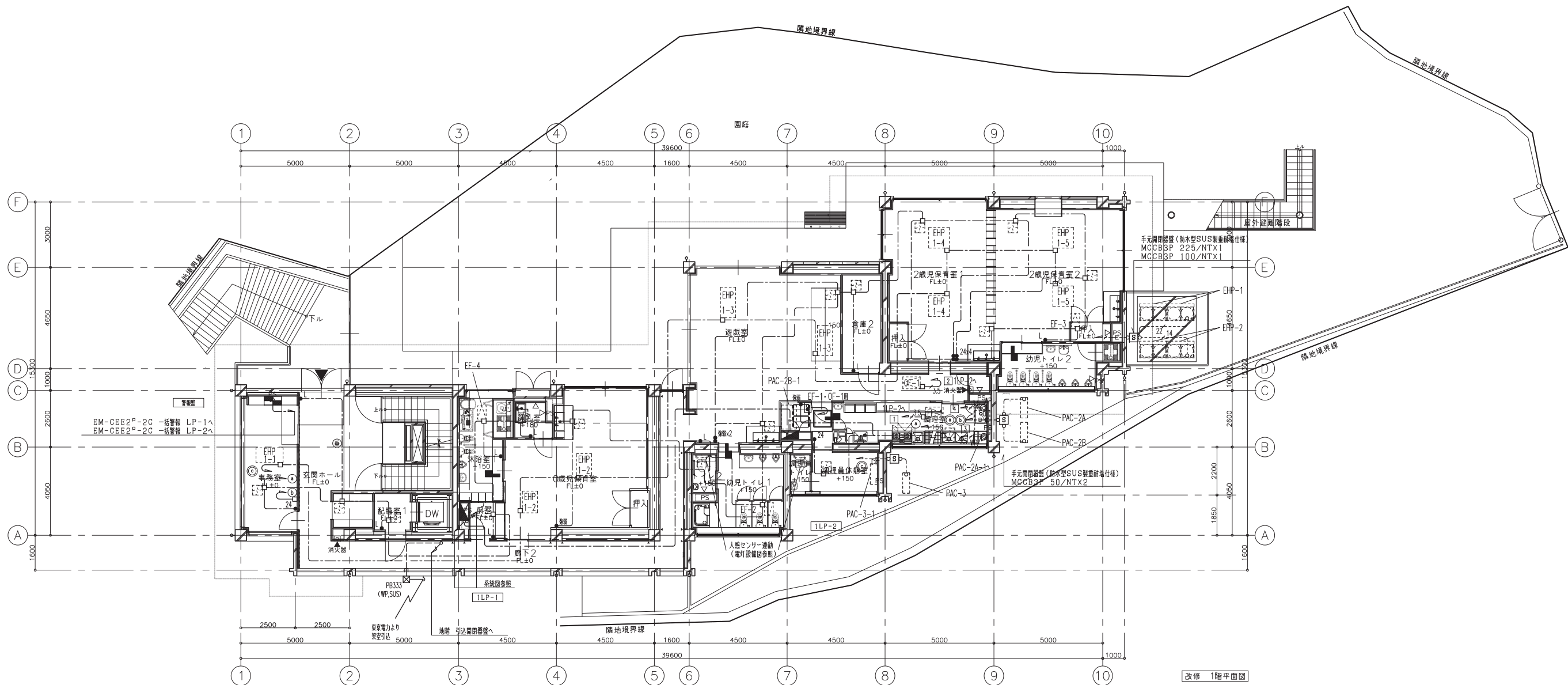
A1:～A3:～

No.

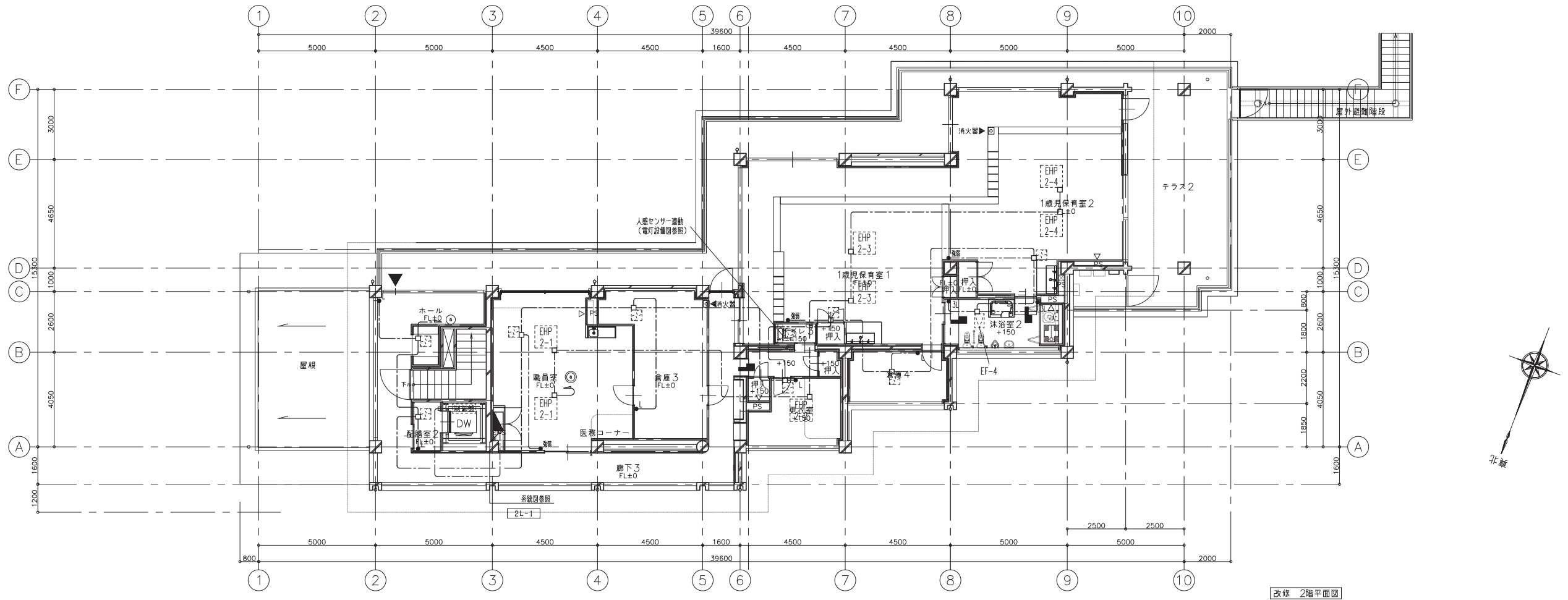
E-04

Total

43

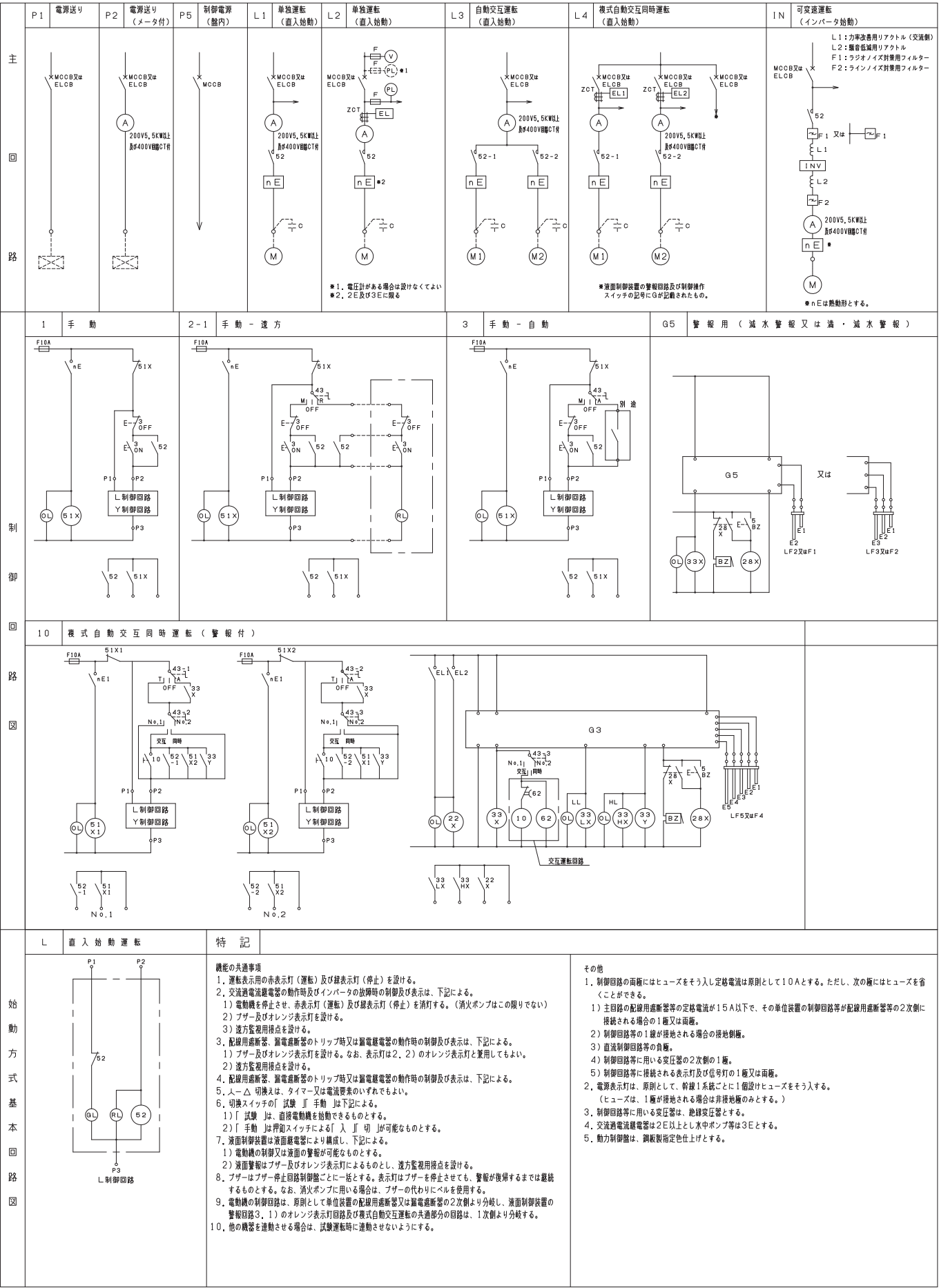


幹線・動力設備 1階平面図 S=1/100



幹線・動力設備 2階平面図 S=1/100

動力盤リスト																					
盤 名 称 電気方式	幹 線 記 号 盤 内 結 線	負 荷			開 閉 器 容 量				記 動 方 式	二 次 配 線 配 管	結 線 記 号			動 力 制 御 盤		事 務 室 警 報 盤			備 考		
		機器番号	機 器 名 称	容 量 [KW]	ELB MCB MB	P	AF	AT			主 回路	操 作 回路	連 動 インターロック	操 作	故 障 表示	警 報 表示	非 常 停 止	操 作		運 転 表示	故 障 表示
1LP-1 AC 3φ3W 200V (屋内自立型) (銅板製指定色) (分電盤一体型)	<div>■ m-1</div> <div></div> <div>MCCB3P 225AF/200AT</div> <div>計31.70kW</div>	EHP-1	ビル用マルチエアコン室外機	17.200	EL68	3	225	125	L	EM-CE22 ^P -4C (G36)	P1				○	---	---	○	一括警報		
		EHP-2	ビル用マルチエアコン室外機	14.500	EL68	3	100	100	L	EM-CE14 ^P -4C (G36)	P1					○	---	---			
1LP-2 AC 3φ3W 200V (屋内自立型) (銅板製指定色) (分電盤一体型)	<div>■ m-2</div> <div></div> <div>MCCB3P 100AF/75AT</div> <div>計10.64kW</div>	EF-1	1 排気ファン	0.750	EL68	3	50	20	L	EM-CE 3.5 ^P -4C (PF22)	L1	2-1	○	○	○	○	---	---	○	一括警報	
		OF-1	2 給気ファン	0.750	EL68	3	50	20	L	EM-CE 3.5 ^P -4C (PF22)	L1	3	○	○	○	○	---	---			
		3	食器洗浄機	4.535	EL68	3	50	20	L	EM-CE 3.5 ^P -4C (PF22)	P1					○	---	---			
		4	消毒保管庫	4.600	EL68	3	50	20	L	EM-CE 3.5 ^P -4C (PF22)	P1					○	---	---			
			制御電源				MCB	2	50	20											



注 記

1. 特記なき配管配線は下記の通りとする。

—	EM—EEF	2, 0-3C	保護管 (PF22)
—	EM—EEF	1, 6-3C	保護管 (PF22)
—	EM—CE	2, 0-3C	保護管 (PF22)
—	EM—CE	1, 6-3C	(G22)
—	EM—CE	1, 6-3C	(PF30)
—	EM—CPES	0, 9-3P	保護管 (PF16)
—	EM—EEF	2, 0-3C	保護管 (PF28)
—	EM—CPES	0, 9-1P	

2. 立上り引下り部は、配管にて保護すること。

3. 防火区画及び防火上必要な燃焼切り壁の貫通部は、国土交通大臣認定による区画貫通処理を行うこと。

4. 調査室エリアに設置する機器は、防塵パッキン・シール等で防塵措置を施すこと。

5. 外壁に取付けする器具及びボックス類は、防露措置を施すこと。

6. 箱蓋部と箱体に設置されるボルトライスは、各々に接地工事を行うこと。

7. 分電盤より予備回路分の配管を天井内に1m突き出しすること。

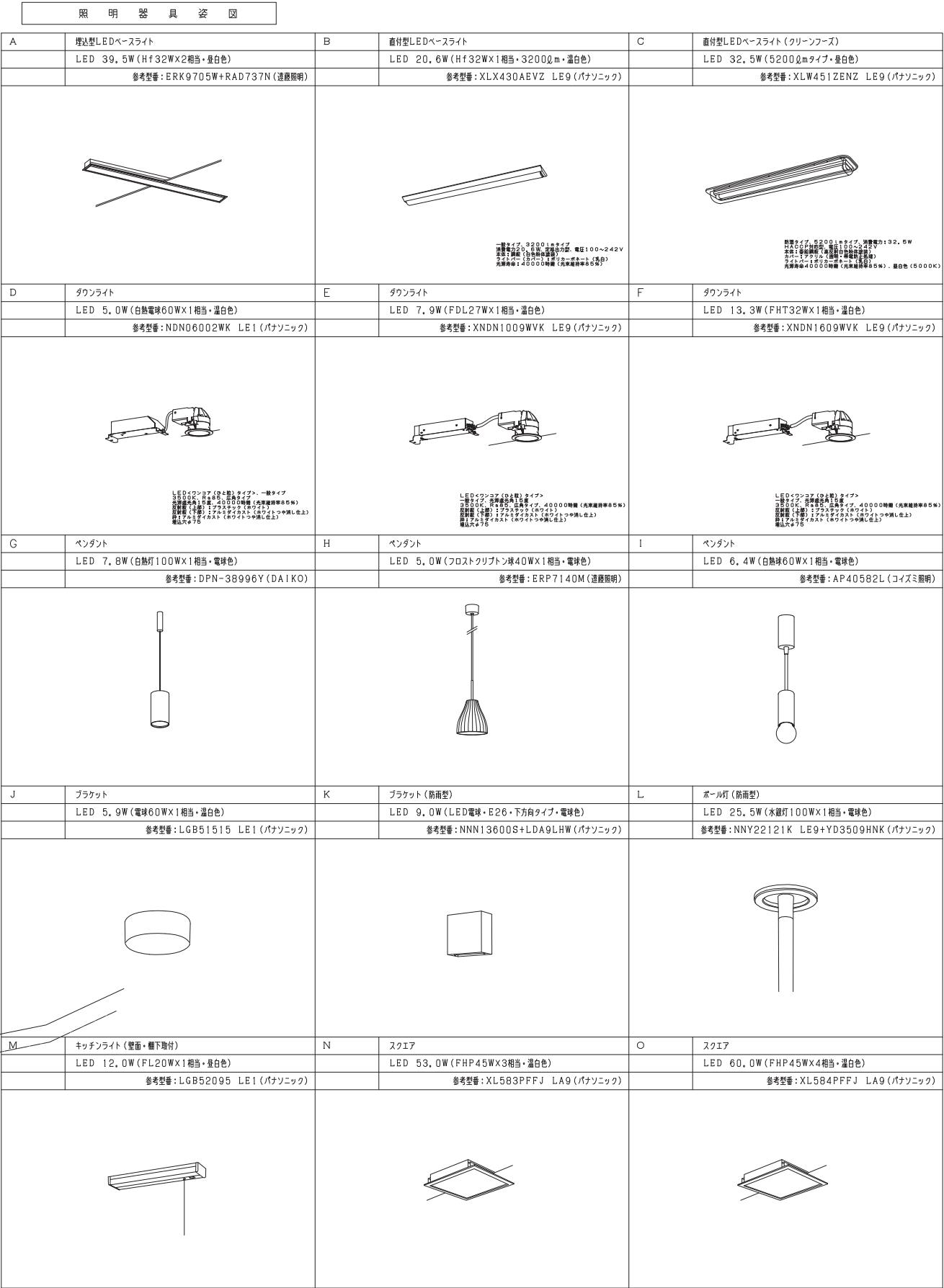
8. スイッチは全てネームスイッチとすること。

9. 分電盤より第1ボックスまでの距離が30mmを超えるケーブルは、凡例のEM—EEF2, 0mmを5, 5²と読み替えること。

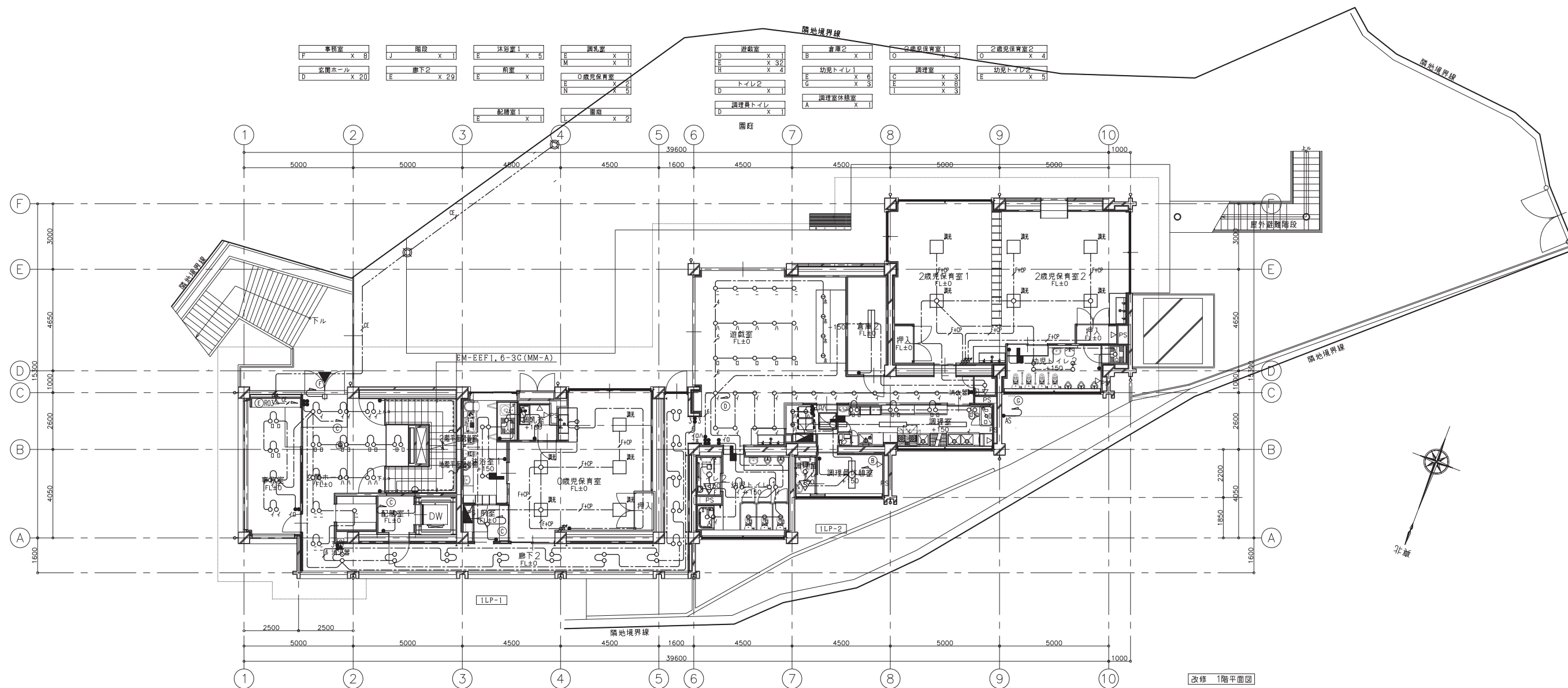
10. 分電盤間 (1LP-1, 1LP-2, 2LP-1) は、EM—CPES0, 9-3Pで配線すること。

11. 参考型番は、相当品とする。

12. 既存コンクリートにスリーブ及びはつたる、弊、必ず鉄筋探査を行うこと。



 株式会社 日比野設計 <small>一級建築士事務所 一級建築士</small>	<small>神奈川県知事登録 第2017号 伊東 陽子 第274650号</small>	<small>平城30年3月</small>	Plan	Draw	Check	熱海市観光建設部まちづくり課				特記	工事名 (仮称)あたま認定こども園改修工事(その2)(乳児棟)	図面名 電灯設備 照明器具器具図・地階平面図	Scale A1:1/100 A3:1/200	No. E-09 Total 43
			奥水	木村	伊佐地	設計	中田 製図	中田 調査	窪田					



電灯設備 1階平面図 S=1/100

注 記

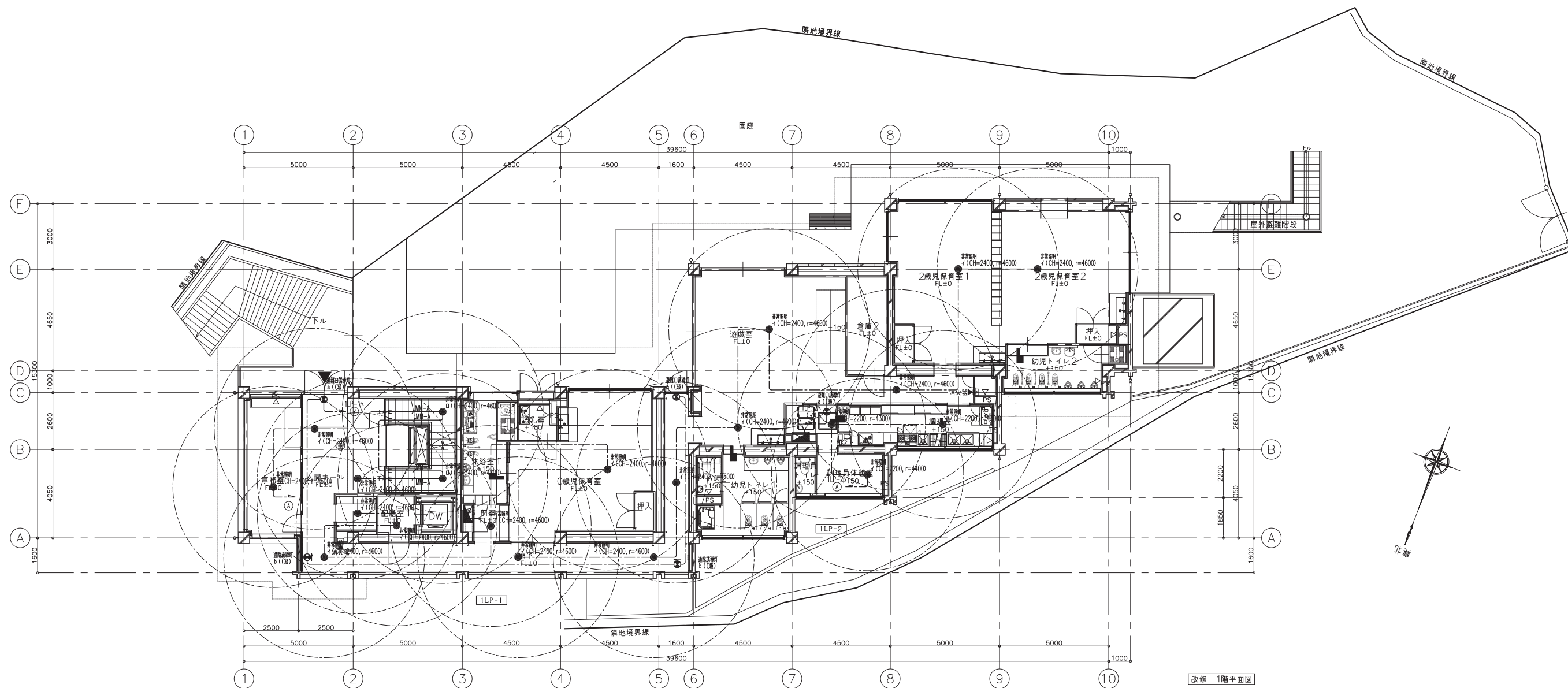
- 特記なき配管配線は下記の通りとする。

— — — — —	EM — EEF	2. 0-3C	保護管 (PF22)
— — — — —	EM — EEF	1. 6-3C	保護管 (PF22)
— — — — — MM-A	EM — EEF	1. 6-3C	(MM-A)
- 立上り引下げ部は、配管にて保護すること。
- 駅外区画及び防火上主要な壁仕切り壁の貫通部は、国土交通大臣認定による区画貫通処理を行うこと。
- 調理室エリアに設置する機器は、防塵パッキン・シール等で防塵措置を施すこと。
- 非常用照明の遮断器位置は、主遮断器の二次側とし
通常主遮断器は、遮断しないものとする。
- 非常用照明器具の構造は、昭45建告1830号に適合すること。
- 誘導灯の遮断器位置は、主遮断器の一次側とし専用電源とする。

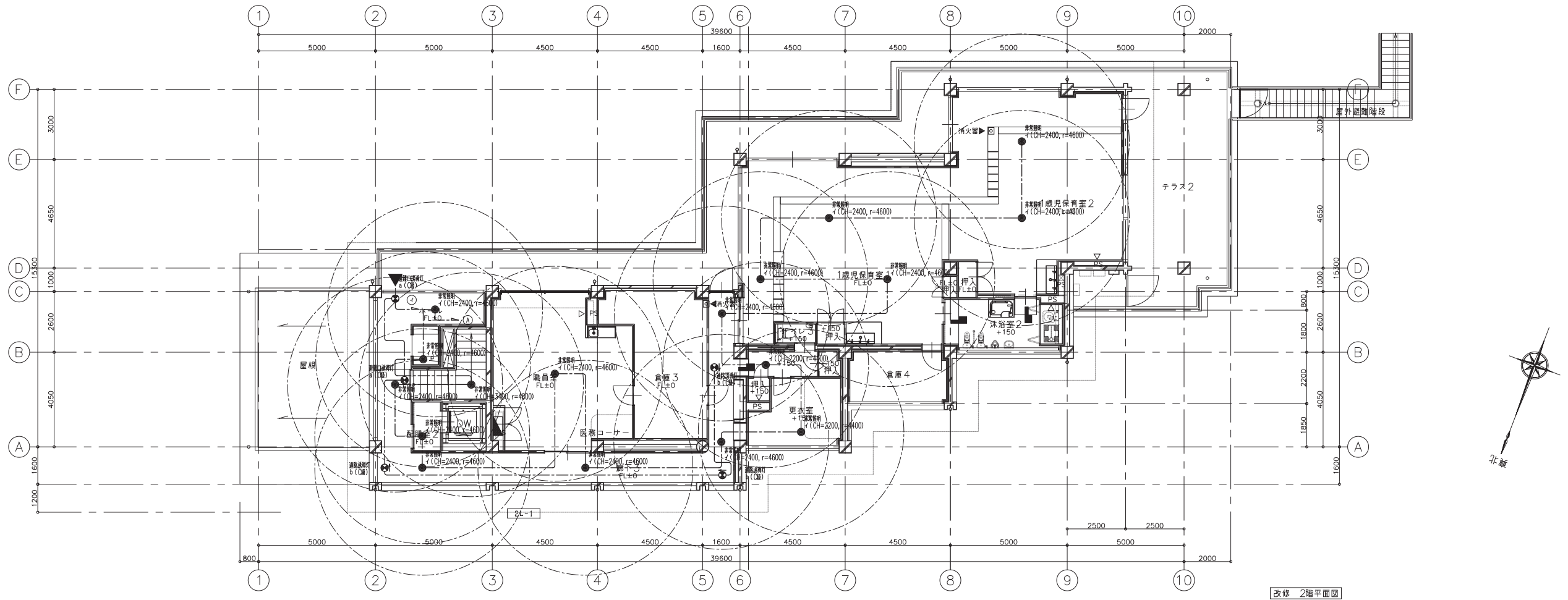
図中の1点補線による円は、照度 $21x$ の範囲を示す



<div><div><div>HIBINO SEKKI</div><div>株式会社 日比野設計</div><div>一級建築士事務所 一級建築士</div></div><div><div>神奈川県加賀市 第2017号 伊東陽子 第274650号</div><div>意匠設計：一級建築士 第334613号 藤田 響子</div></div></div>										Date	Plan	Draw	Check	熱海市観光建設部まちづくり課				特記	工事名				図面名	Scale	No.
平成30年3月										奥水	木村	伊佐地	設計		製図		調査			(仮称)あたま認定こども園改修工事(その2)(乳児棟)	非常照明・誘導灯設備 照明器具資材・地階平面図	A1:1/100 A3:1/200	E-12		
																			Total	43					



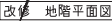
非常照明・誘導灯設備 1階平面図 S=1/100



非常照明・誘導灯設備 2階平面図 S=1/100



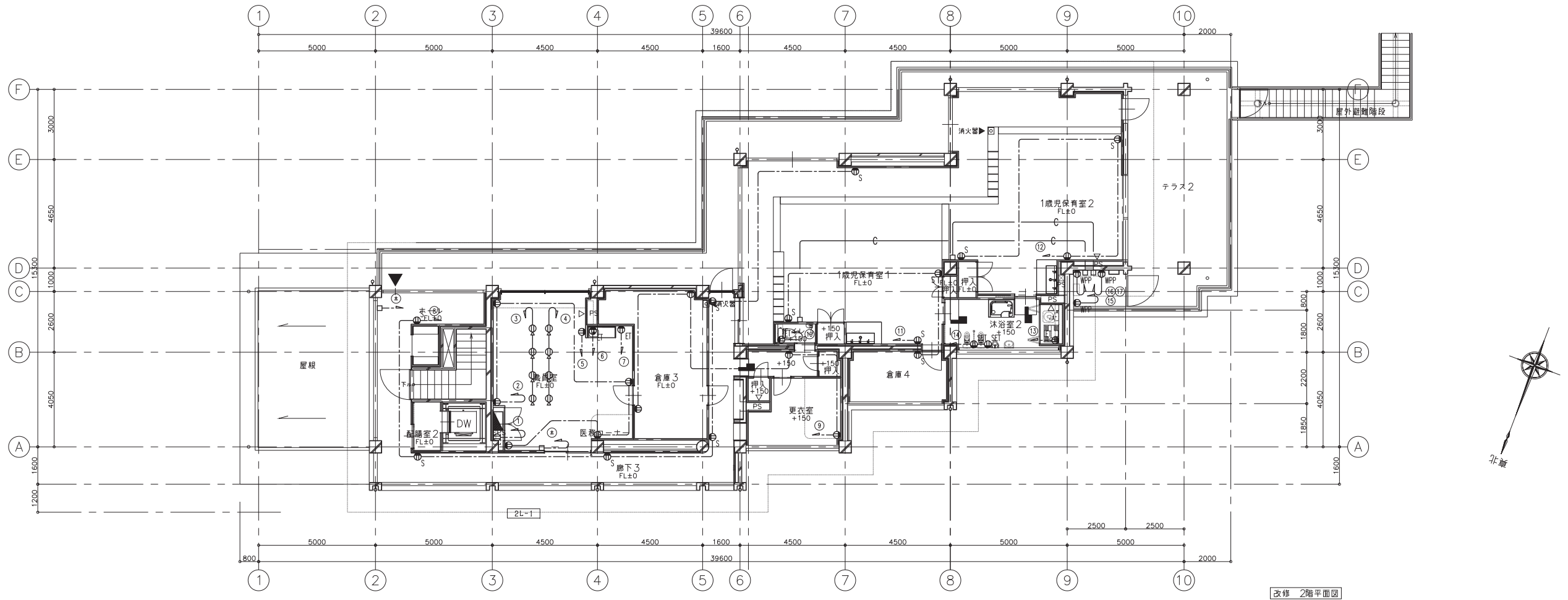
改修 1階平面図



改修 地階平面図

注記

1. 特記なき配管配線は下記の通りとする。
- | | | | |
|-------|--------|---------|------------|
| ——— | EM-EEF | 2, 0-3C | 保護管 (PF22) |
| ——— | EM-EEF | 1, 6-3C | 保護管 (PF22) |
| ——C—— | 空配管 | | (PF22) |
2. 立上げ引下げ部は、配管に保護すること。
3. 防火区画及び防火上主要な密着仕切り壁の貫通部は、国土交通大臣認定による区画貫通処理を行うこと。
4. 調理室エリアに設置する機器は、防塵バッキン・シール等で防塵措置を施すこと。
5. 外壁に取付ける壁具及びボックス類は、防露措置を施すこと。
6. 分電盤より備用回路分の空配管を天井内に1m突き出すこと。
7. 既存コンクリートにスリッパ及びはる際、必ず鉄筋調査を行うこと。
7. 1事務室給合室給合スペースの回路は、下記とする。
- | | | |
|-----------------|---------------|--------|
| ① 自火報受信機 | EM-EEF2, 0-3C | (PF22) |
| ② 火災通報装置 | EM-EEF2, 0-3C | (PF22) |
| ③ 機械警備装置 | EM-EEF2, 0-3C | (PF22) |
| ④ 電気制御部屋・インターホン | EM-EEF2, 0-3C | (PF22) |
| ⑤ 電話交換機 | EM-EEF2, 0-3C | (PF22) |
| ⑥ 警報機 | EM-EEF2, 0-3C | (PF22) |
| ⑦ カメラ装置 | EM-EEF2, 0-3C | (PF22) |

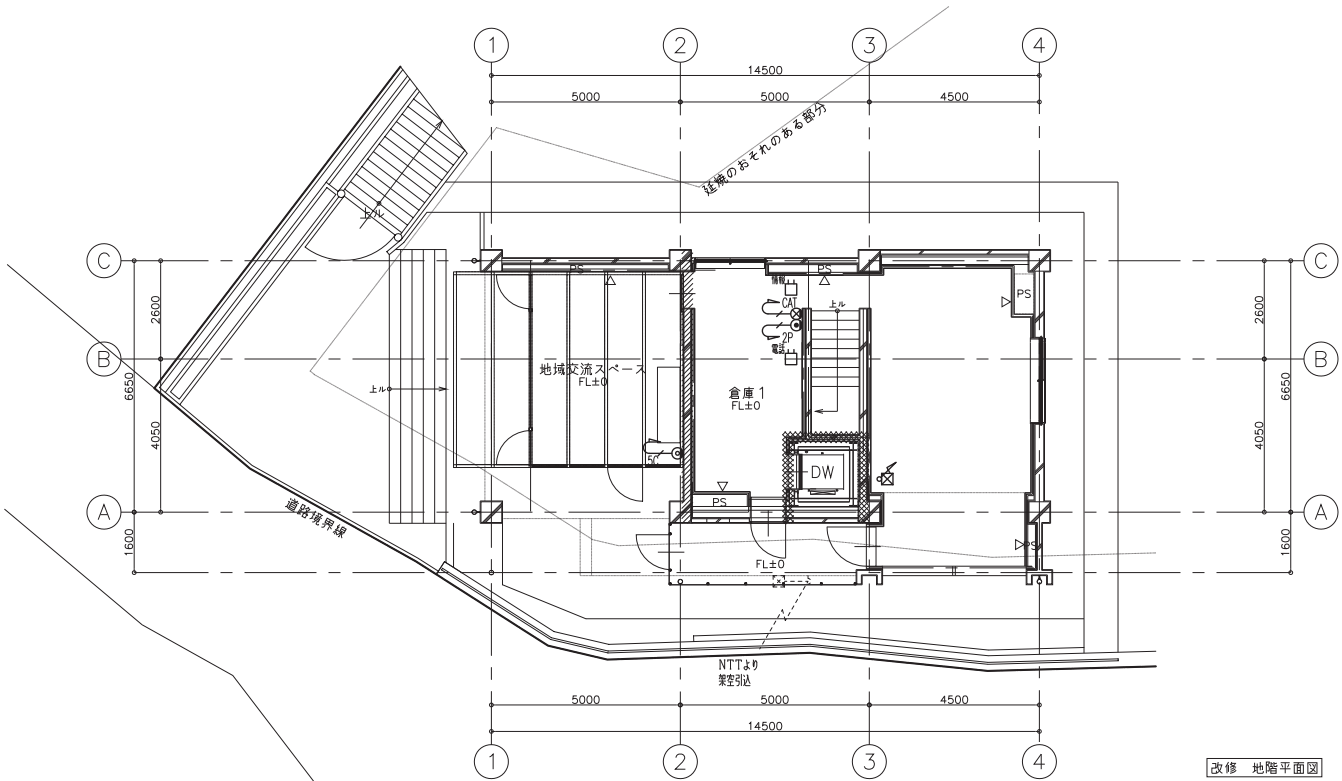
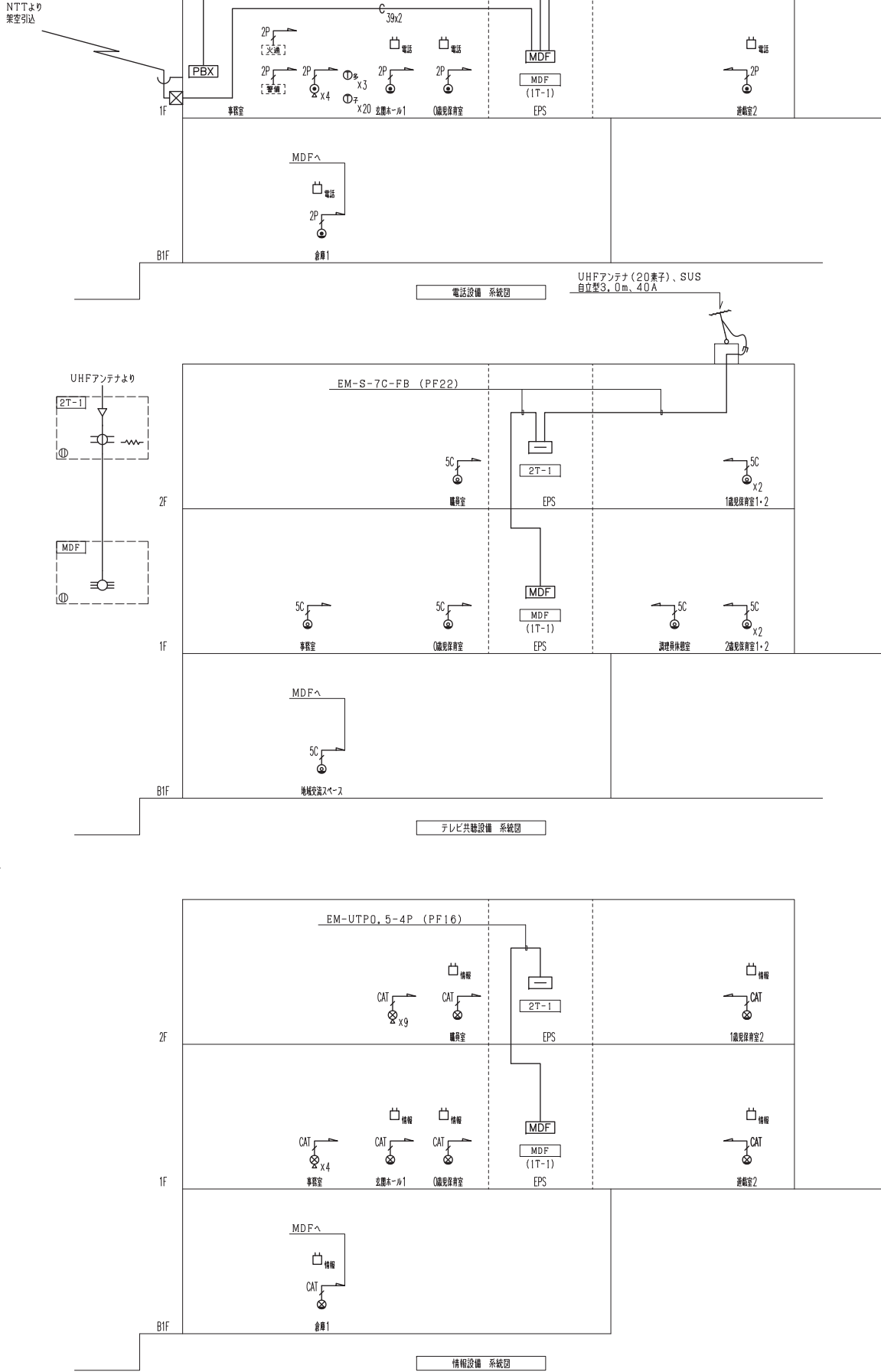


コンセント設備 2階平面図 S=1/100

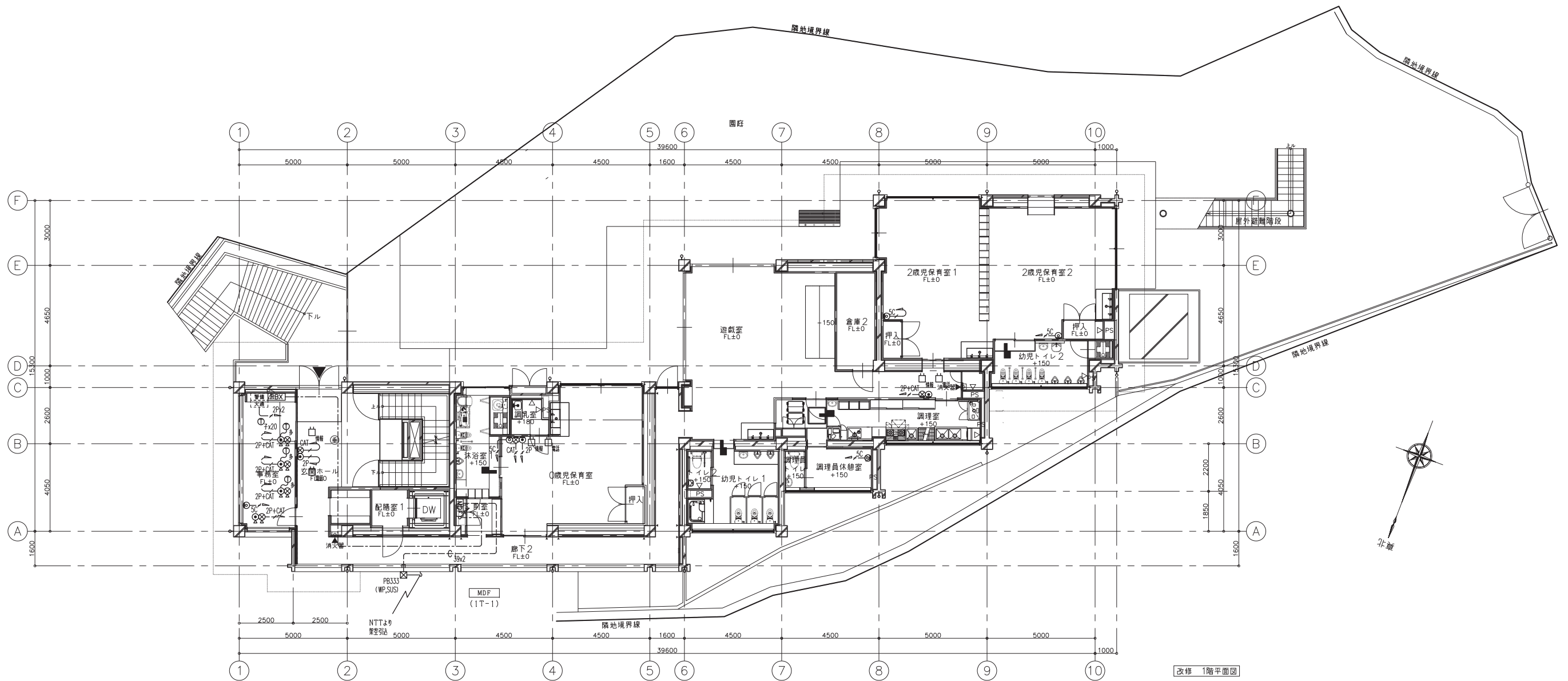
凡 例		
記 号	名 称	備 考
	弱電端子盤	
	電話交換機	
	火災通報装置	別途工事
	機械警備装置	別途工事
	デジタル多機能電話機	卓上型
	デジタルコードレス電話機	
	コードレス電話機用基地局	
	壁付電話用アウトレット	6極4芯×1
	床付電話用アウトレット	6極4芯×1
	情報用アクセスポイント	8極8芯×1
	壁付情報用アウトレット	6極4芯×1
	床付情報用アウトレット	
	壁付テレビ用アウトレット	
	増幅器	
	4分配器	
	6分配器	
	終端抵抗	
	防火区画貫通処理	
	天井いんべい配線	
	床いんべい配線	
	露出配線	
	天井ころがし配線	
	立上げ、素通り、引下げ	
	アウトレットボックス	
	プルボックス	

注 記	
1. 特記なき配管配線は下記の通りとする。	
電話設備	2P EM-CPEEO, 65-2P 保護管 (PF22)
	2P EM-CPEEO, 65-2P (PF22)
	39x2 空配管 (E39)×2
情報設備	U EM-UTP0, 5-4P 保護管 (PF22)
	U EM-UPT0, 5-4P (PF22)
	(カテゴリ-6対応とする)
TV共聴設備	S EM-S-5C-FB 保護管 (PF16)
	5C EM-S-5C-FB (PF16)
	7C EM-S-7C-FB 保護管 (PF22)
	7C EM-S-7C-FB (PF22)
2. 立上げ引下げ部は、配管にて保護すること。	
3. 防火区画及び防火上主要な間仕切り壁の貫通部は、国土交通大臣認定による区画貫通処理を行うこと。	
4. 端子盤は、各設備毎にセパレータを設けること。	
5. 外壁に取付ける器具及びボックス類は、防露措置を施すこと。	
6. 既存コンクリートにスリーブ及びはつる際、必ず鉄筋探査を行うこと。	

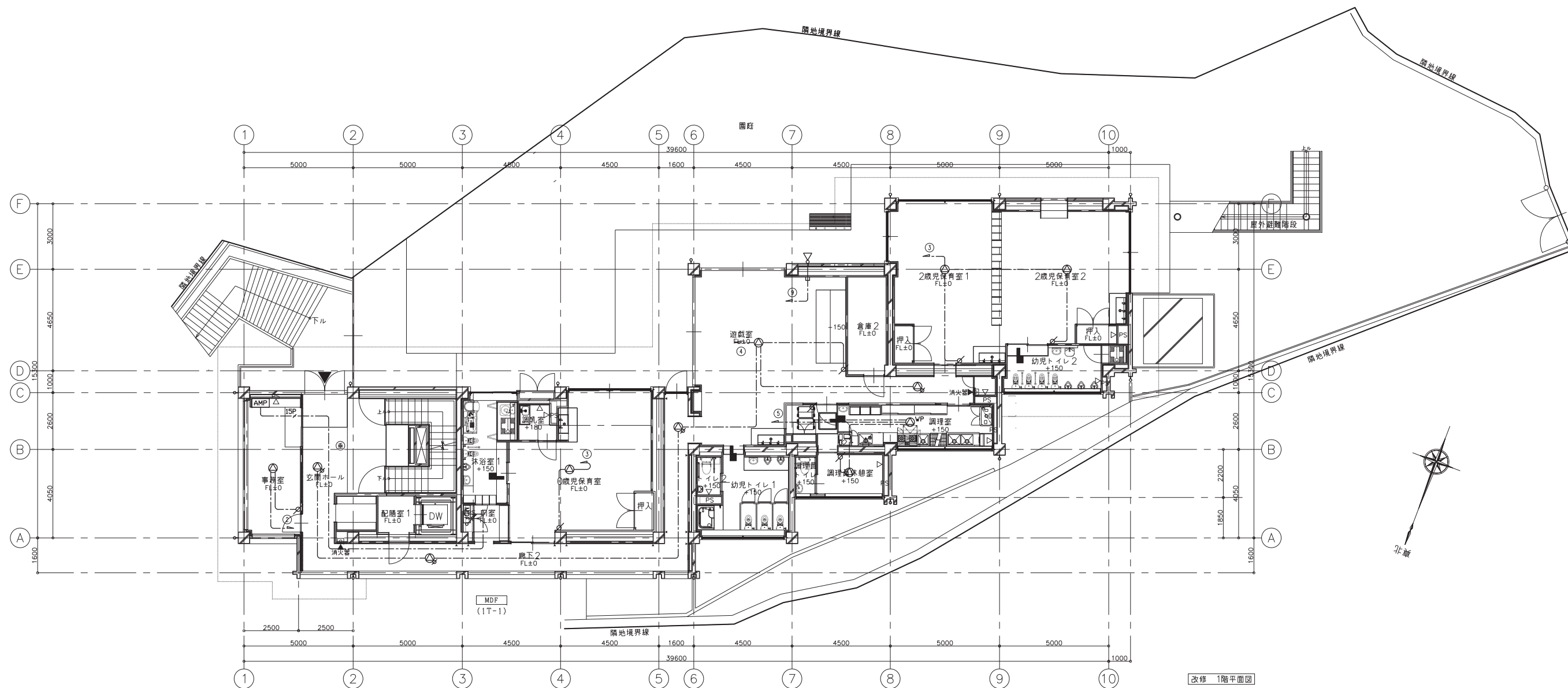
PBX	電話交換機の機器構成
1. 機器構成	
1) 電話主装置	1台
2) デジタル多機能電話機	11台
3) コードレス電話機	20台
4) コードレス電話機用アンテナ	6台
5) 外線収容数	1SDN(2回線)、アナログ回線(4回線)
6) システム通話	1P電話(16回線)
	電気錠、ドアホン、放送



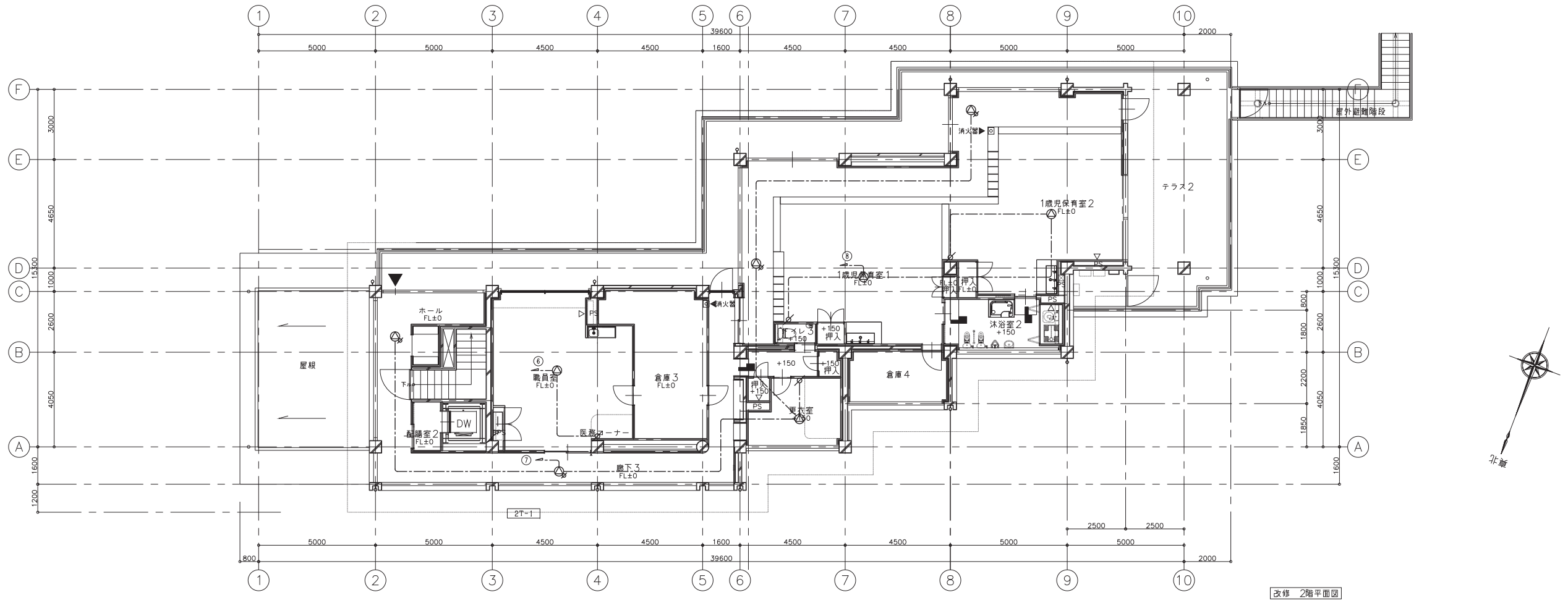
弱電設備 地階平面図 S=1/100



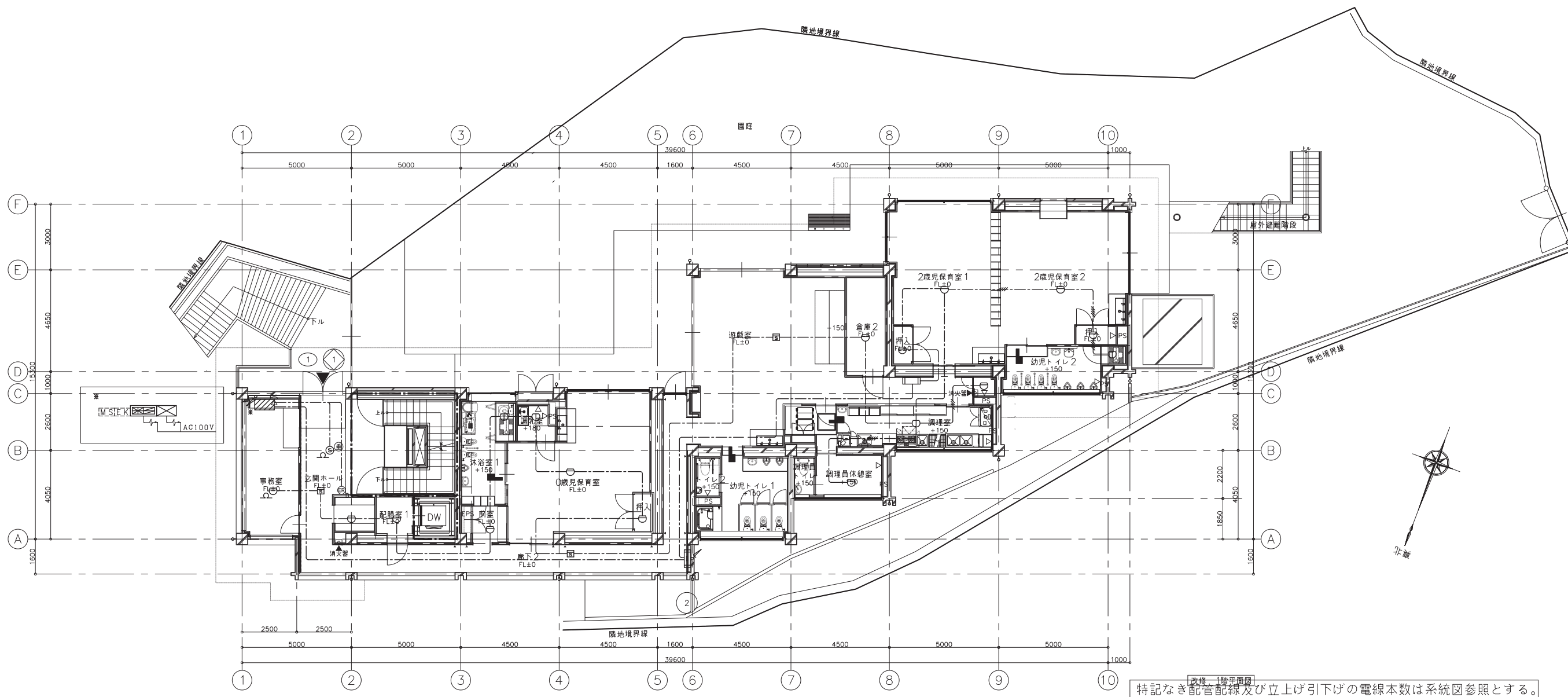
弱電設備 1階平面図 S=1/100



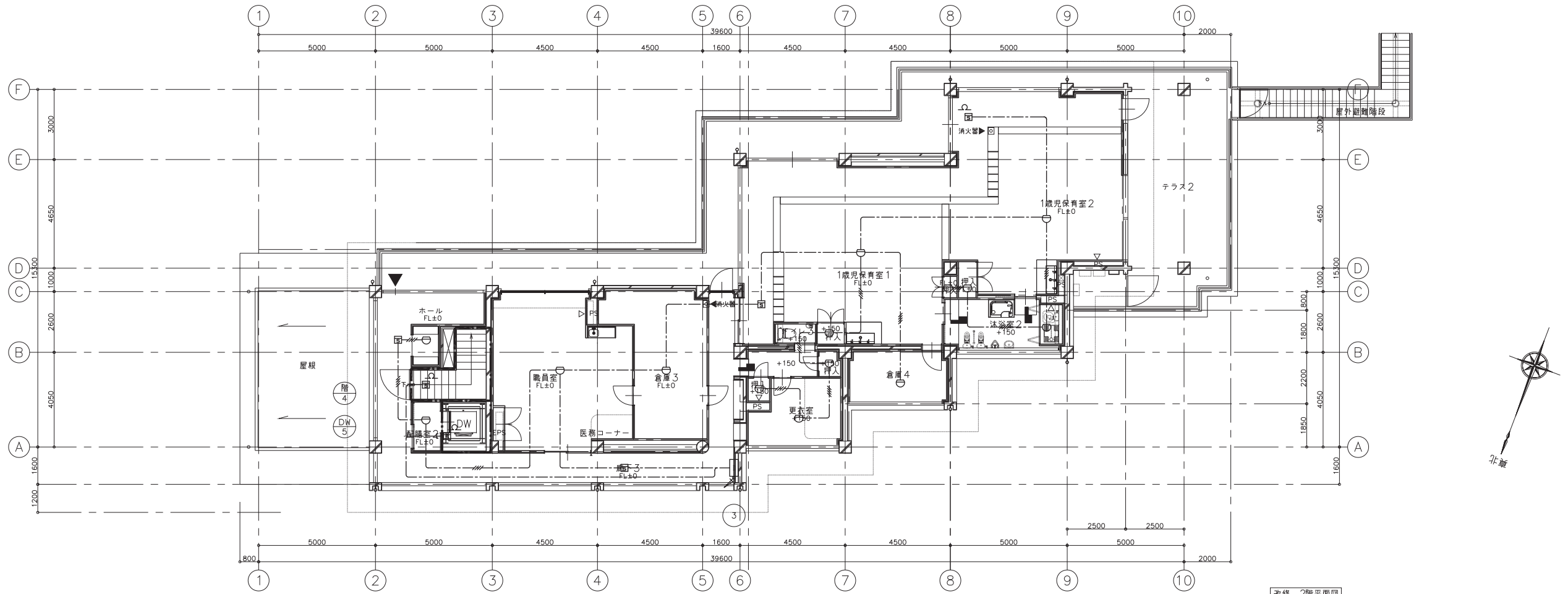
放送設備 1階平面図 S=1/100



放送設備 2階平面図 S=1/100

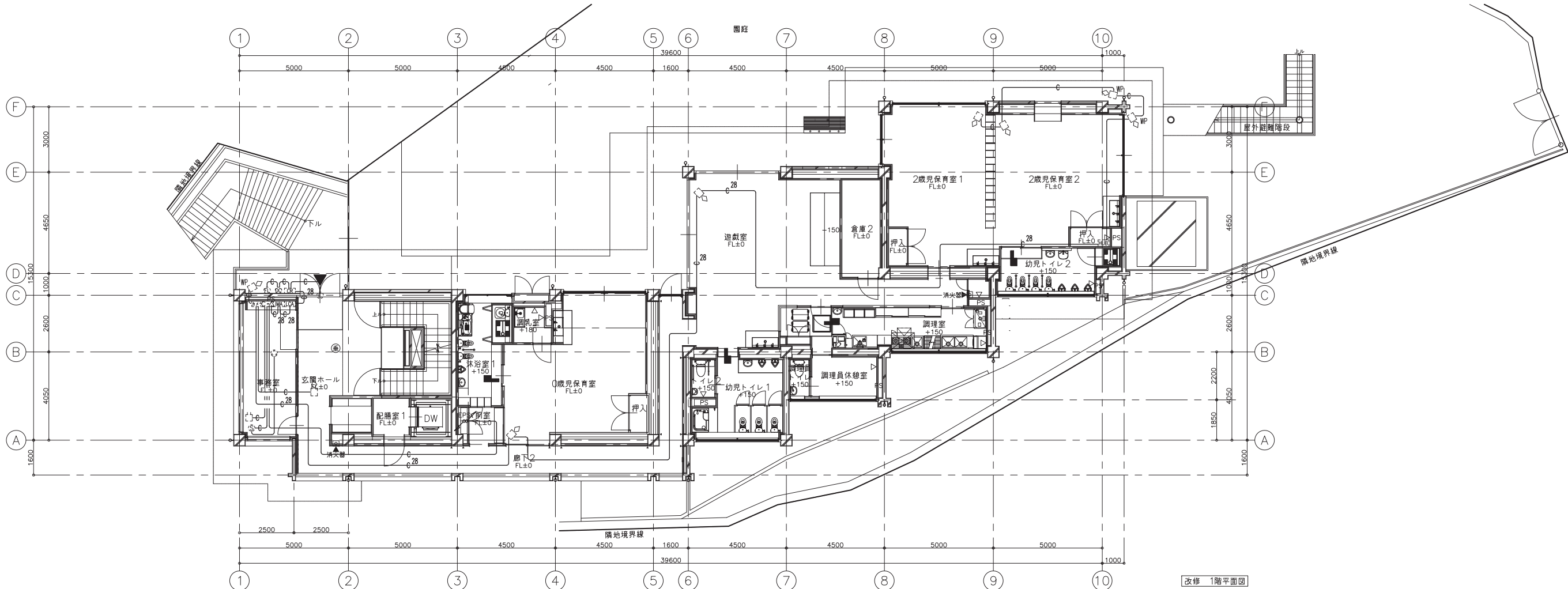


自動火災報知設備 1階平面図 S=1/100



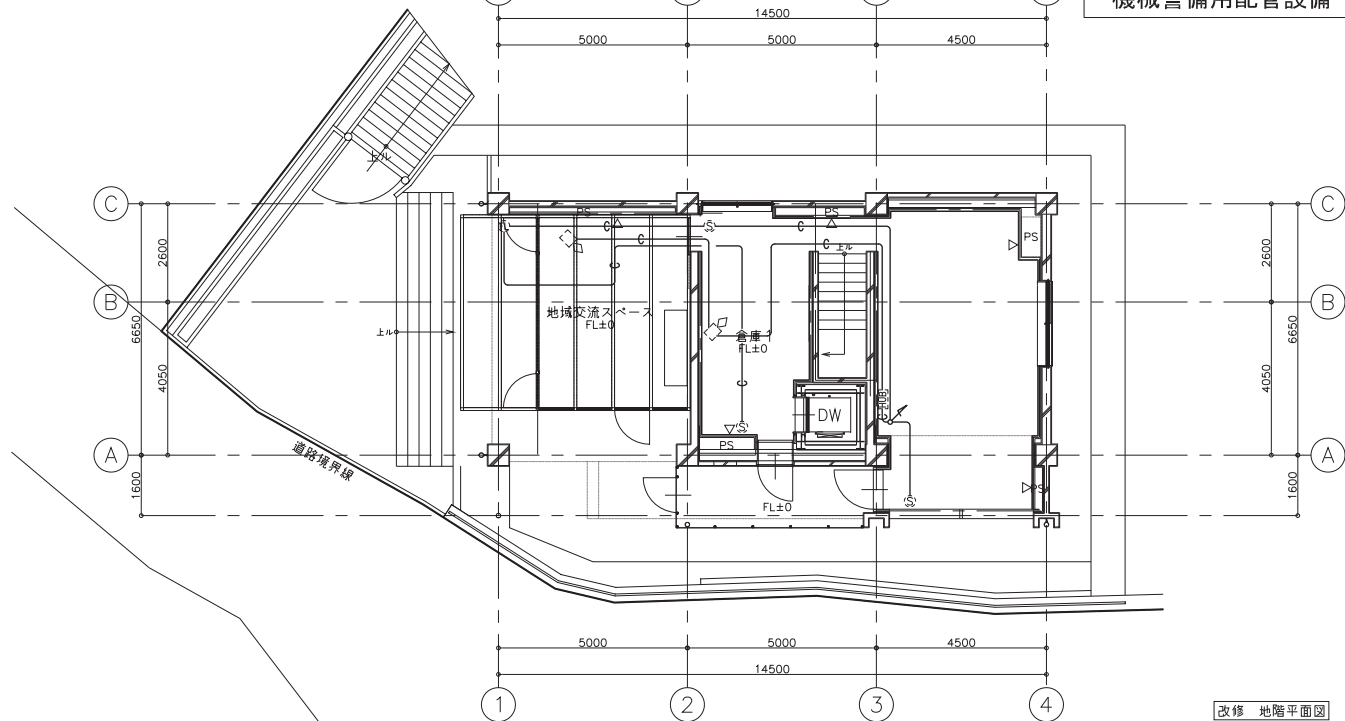
改修 2階平面図
特記なき配管配線及び立上げ引下げの電線本数は系統図参照とする。

自動火災報知設備 2階平面図 S=1/100



改修 1階平面図

機械警備用配管設備 1階平面図 S=1/100

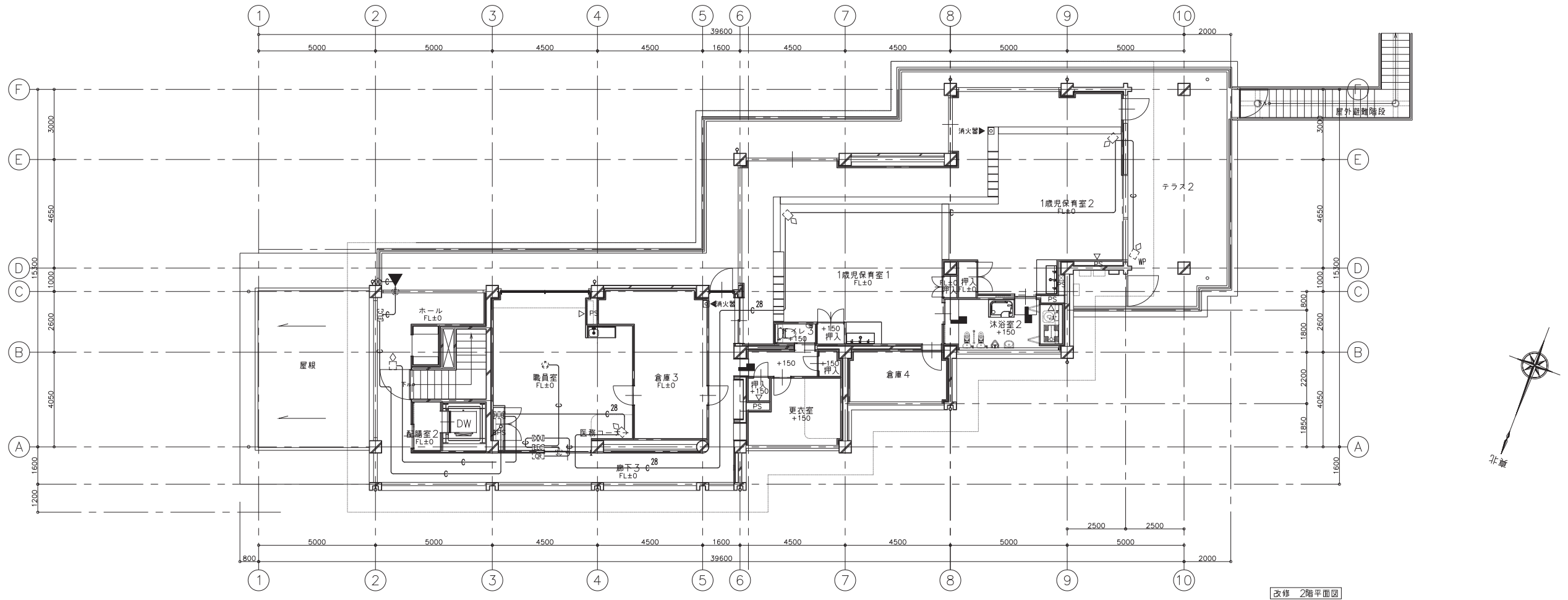


改修 地階平面図

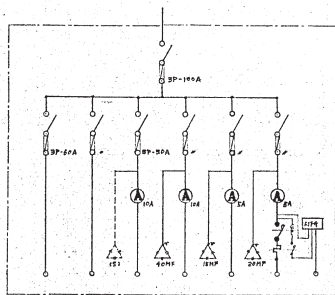
機械警備用配管設備 地階平面図 S=1/100

凡 例		
記 号	名 称	備 考
C-E-C	機械警備士装束群	別途機械警備工事
C-C-C	カードリーダー	別途機械警備工事
C-C-C	無線通信アダプタ	別途機械警備工事
C-C	フラッシュランプ	別途機械警備工事
C-A	移動アンテナ	別途機械警備工事
S	画像、空間センサー	別途機械警備工事
C-E-H	PoEハブ	別途機械警備工事
C-E	カメラ主装置	別途機械警備工事
C-C	屋外カメラ	別途機械警備工事
C-WP	屋内ドームカメラ	別途機械警備工事
C-W	モニター付監視機	別途機械警備工事
C	カメラ付玄関子機	別途機械警備工事
C	電気錠	別途機械警備工事
C-C	電気錠コントローラー	別途機械警備工事
C-C	操作表示機	別途機械警備工事
C	スピーカー	別途機械警備工事
↑ ↓	立上げ、素通り、引下げ	
□	アクトレットボックス	併記WPは防雨入換プレート付
⊠	ブルボックス	

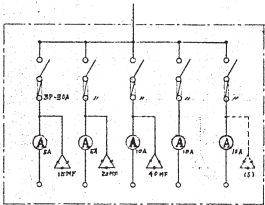
- 注 記
- 特記なき配管配線は下記の通りとする。
機械警備設備
C 空配管 (PF22)
C-28 空配管 (PF28)
 - 立上げ引下げ部は、配管にて保護すること。
 - 防火区画及び防火上主要な間仕切り壁の貫通部は、国土交通大臣認定による区画貫通処理を行うこと。
 - 外壁に取付ける器具及びボックス類は、防露措置を施すこと。
 - 既存コンクリートにスリーブ及びはつる際、必ず鉄筋検査を行うこと。



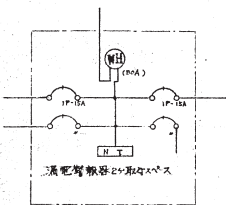
機械警備用配管設備 2階平面図 S=1/100



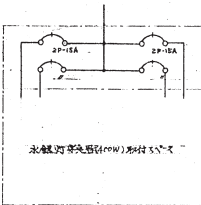
動力盤 P-1



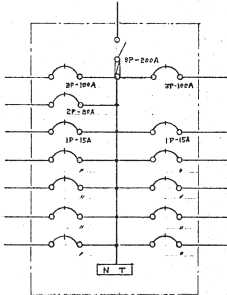
動力盤 P-1-1



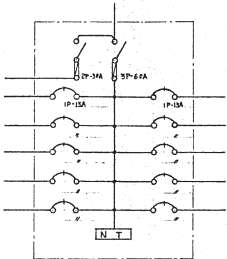
分電盤 L-1-1



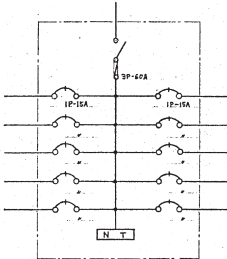
分電盤 L-3



分電盤 L-1

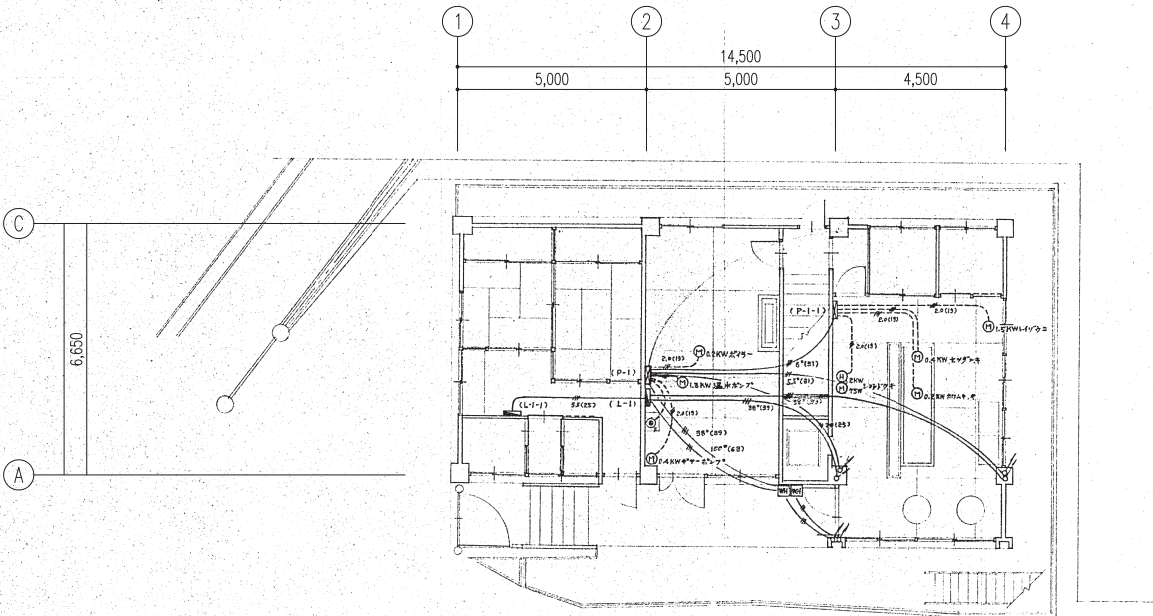
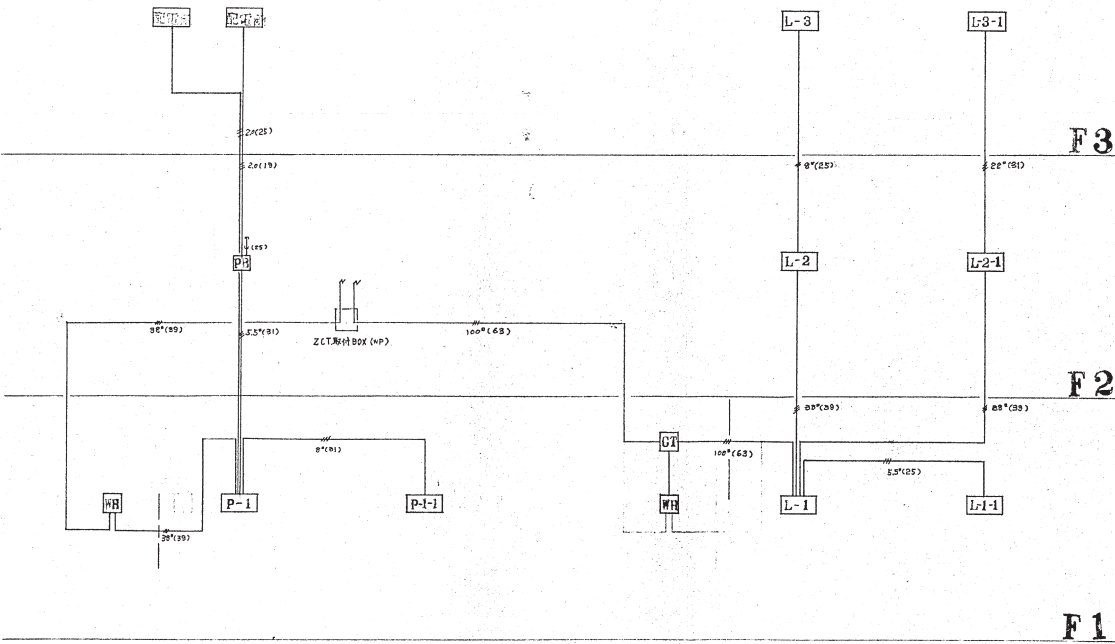


分電盤 L-2



分電盤 L-2-1 L-3-1

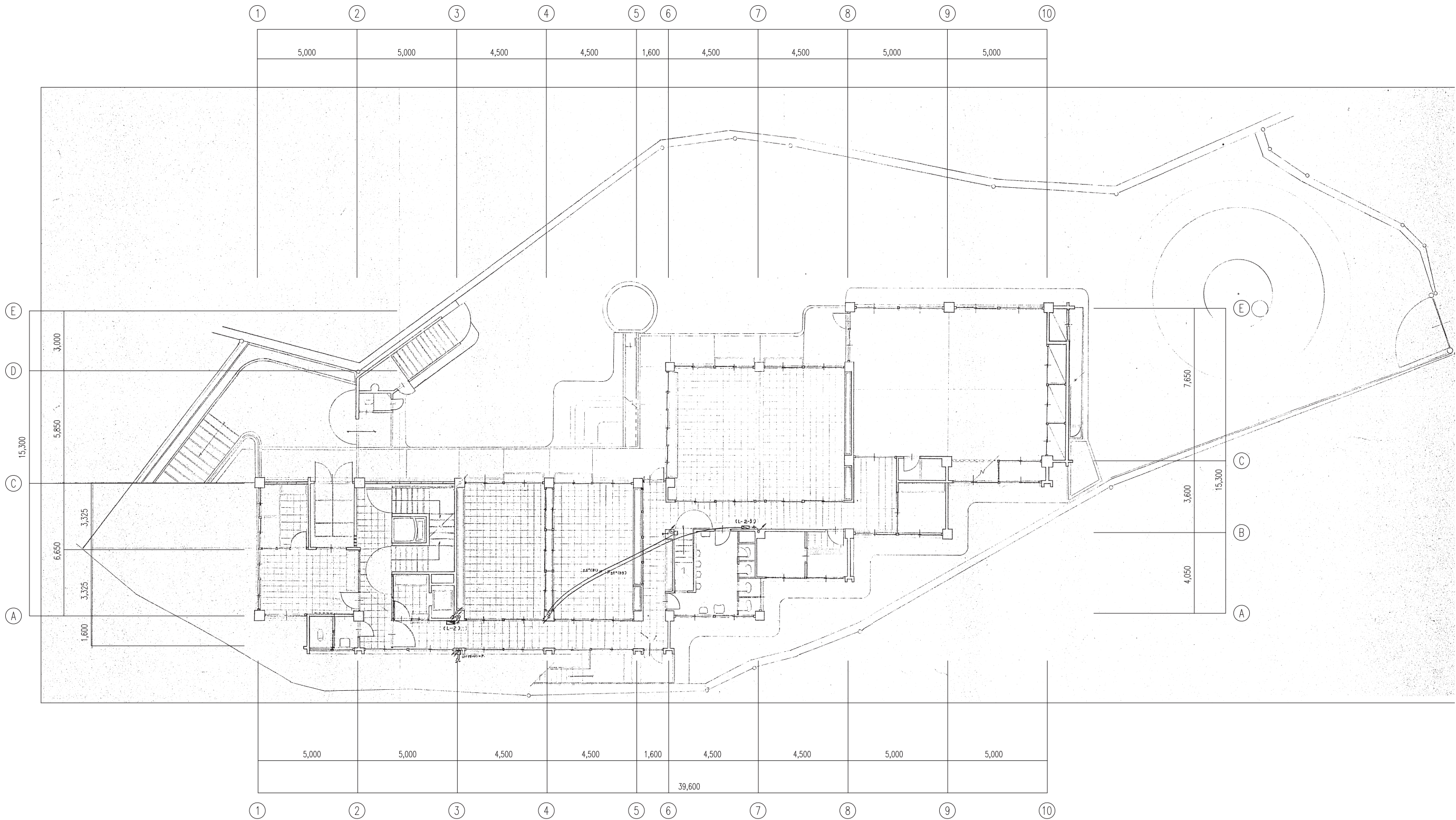
(動力電灯幹線系統図)



地階平面図 S=1/100

- 図示の機器及び配管、配線類は全て撤去とする。
- 撤去後の躯体開口穴埋めは全て建築工事とする。

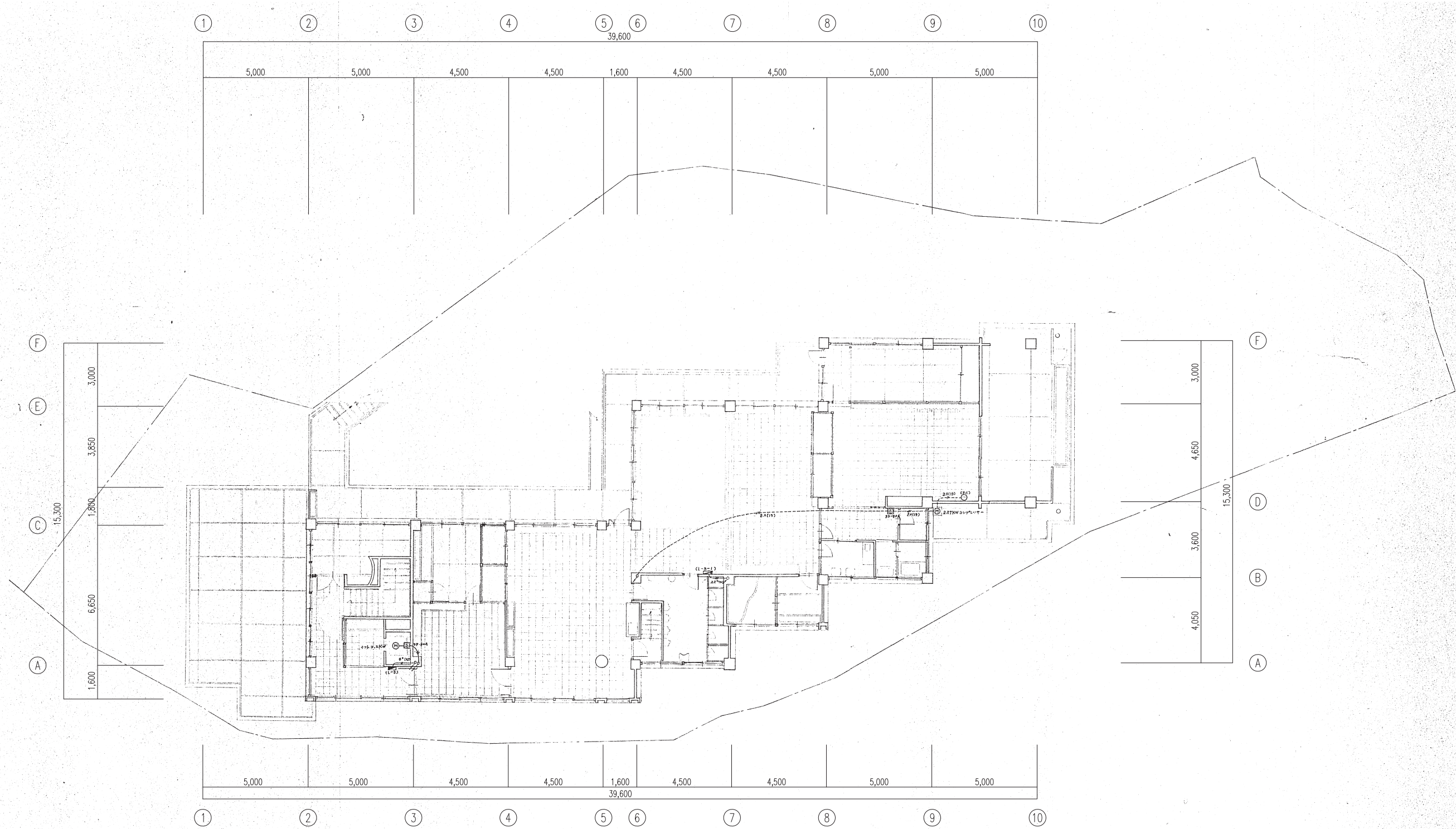
撤去図



1階平面図 S = 1 / 100

- 図示の機器及び配管、配線類は全て撤去とする。
- 撤去後の躯体開口穴埋めは全て建築工事とする。


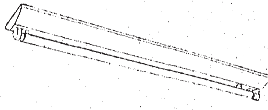
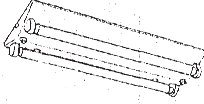
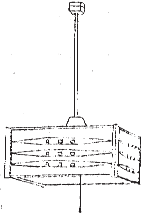



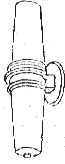

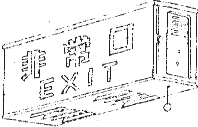
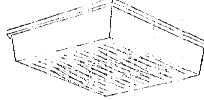

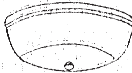
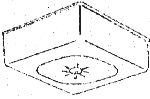
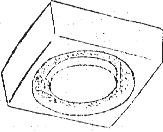

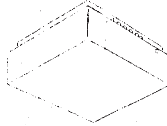
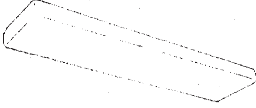
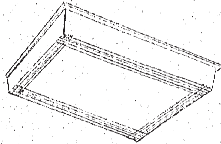
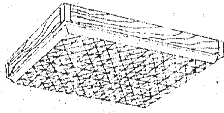
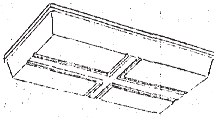
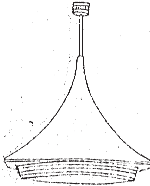

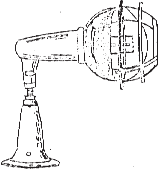
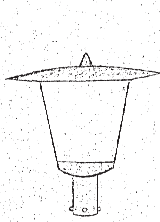
撤去図



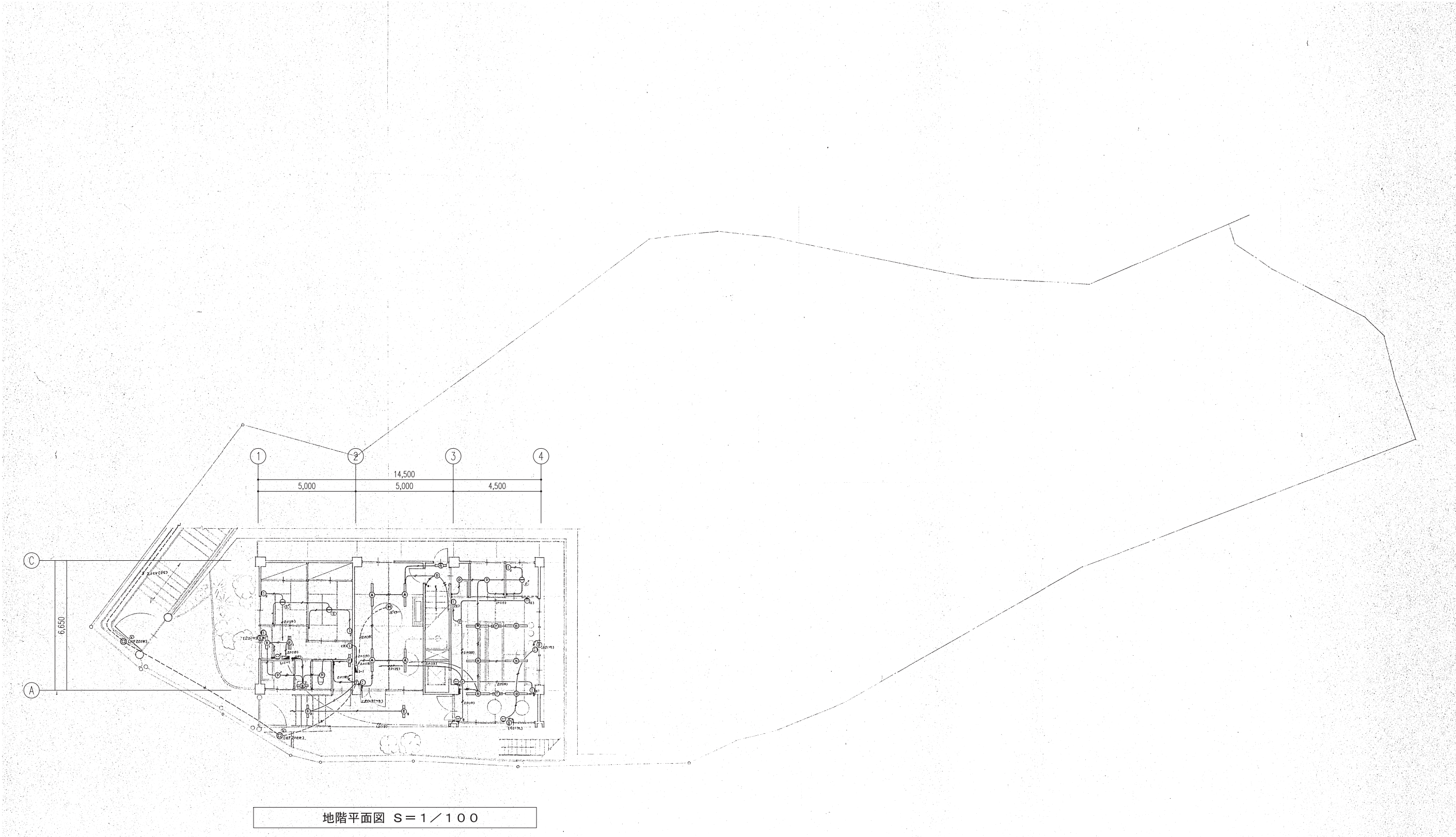
2 階平面図 S = 1 / 1 0 0

- 1. 図示の機器及び配管、配線類は全て撤去とする。
- 2. 撤去後の躯体開口穴埋めは全て建築工事とする。

撤 去 図

					
① FL 40W ② FL 20W	③ FL 20W	④ FL 20W 2	⑤ FL 30W 2 ⑥ FL 30W	⑦ FL 60W ⑧ FL 30W	⑨ FL 20W ⑩ FL 10W
					
⑪ FL 20W	⑫ FL 20W	⑬ FL 20W	⑭ FL 10W	⑮ FL 20W 4 ⑯ FL 20W 8	⑰ FL 20W 2 ⑱ FL 20W
					
⑲ FL 20W	⑳ FL 20W	㉑ FL 30W	㉒ FL 30W	㉓ FL 40W	㉔ FL 40W 2
					
㉕ FL 20W 4	㉖ FL 20W 4 ㉗ FL 20W 2	㉘ FL 20W 4	㉙ FL 32W	㉚ GR 15W	㉛ WF 400W
					
㉜ WF 200W					

撤去図

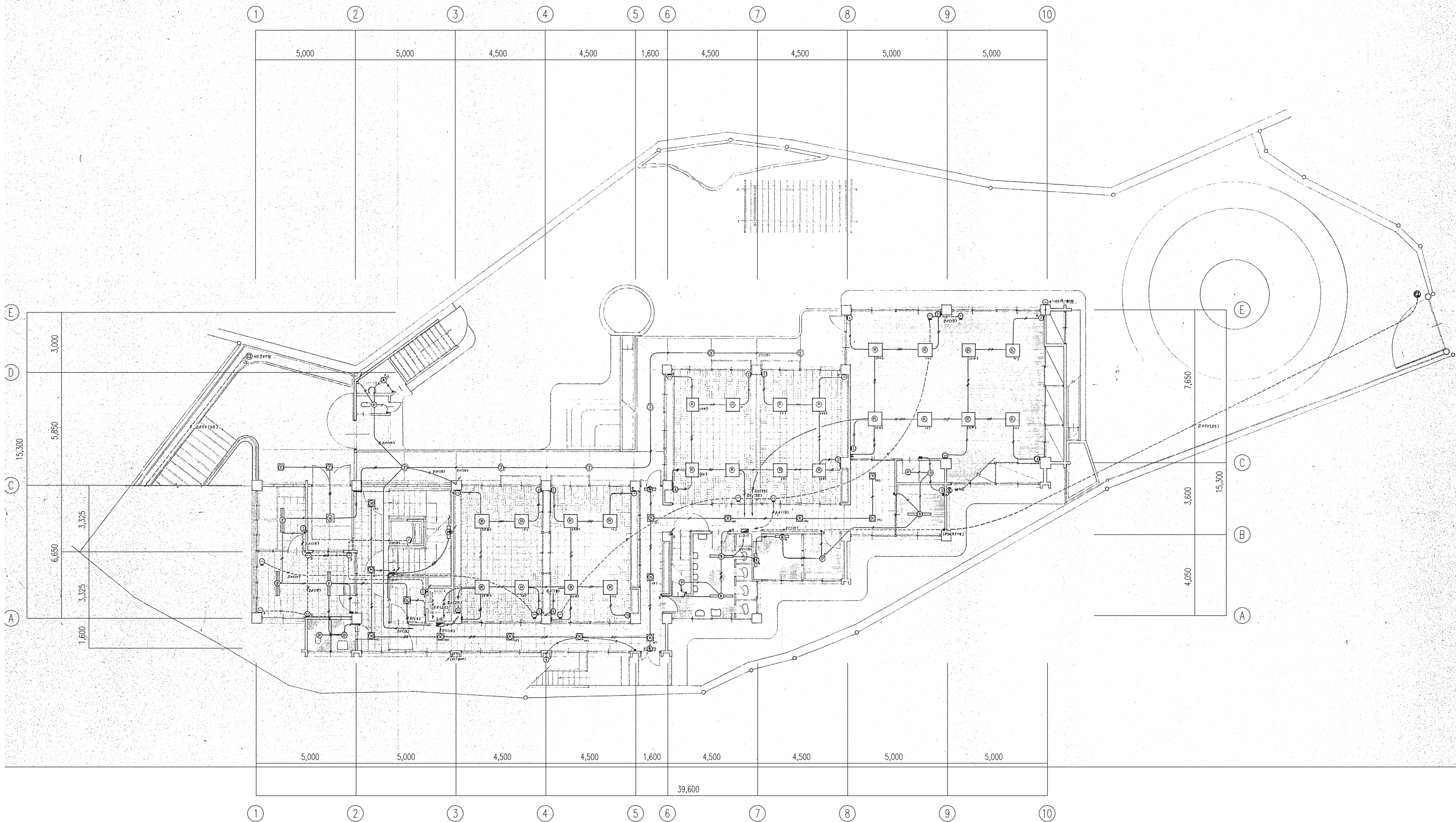


地階平面図 S=1/100

1. 図示の機器及び配管、配線類は全て撤去とする。
2. 撤去後の躯体開口穴埋めは全て建築工事とする。

撤去図

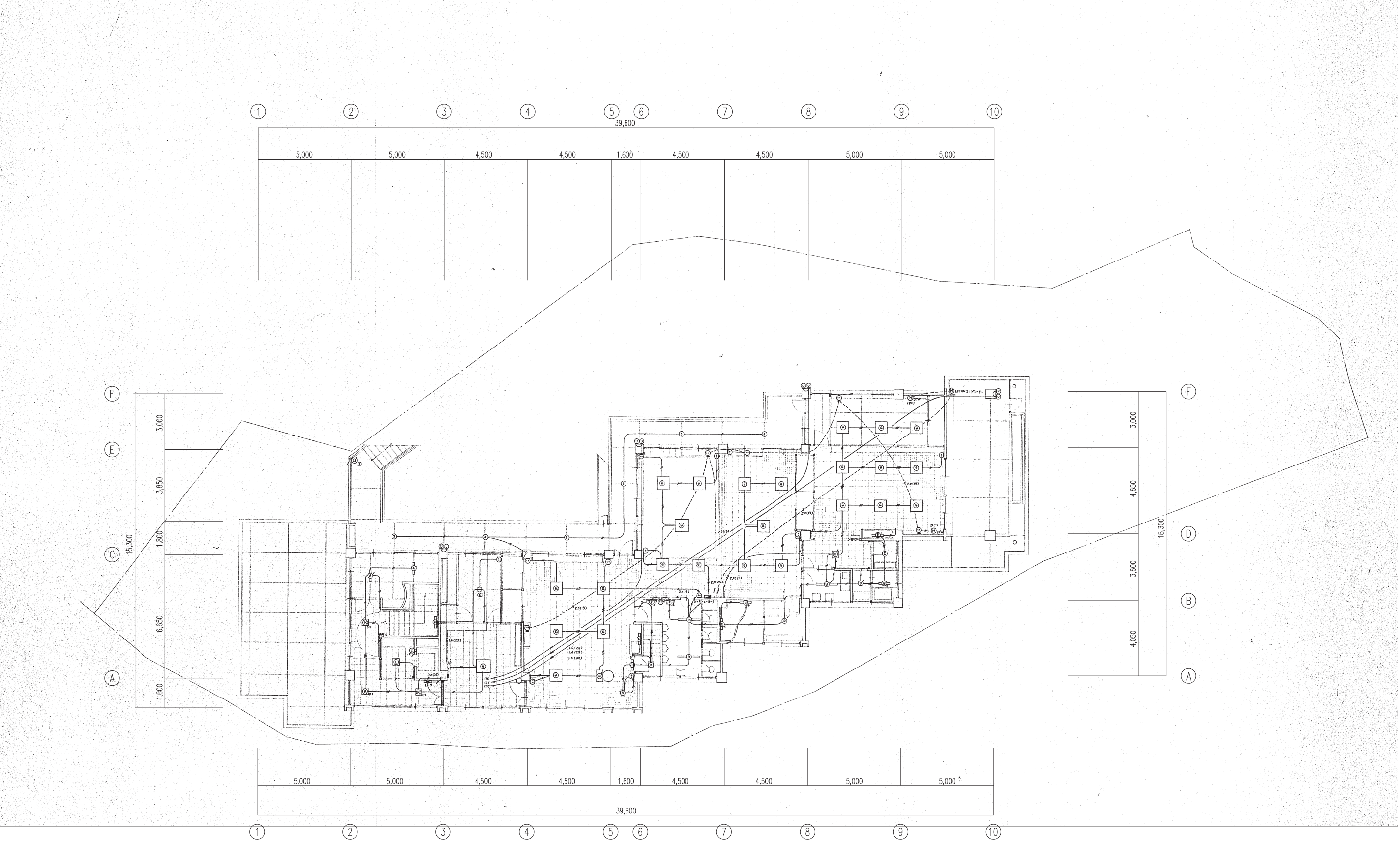
<div><div><div></div></div><div>株式会社 日比野設計</div><div>一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第2017号 一級建築士 第274650号 伊東 陽子</div></div>	監理設計: 一級建築士 第334613号 藤部 響子	Date	Plan	Draw	Check	熱海市観光建設部まちづくり課		特記	
			奥水	木村	伊佐地	設計	製図		調査
			平成30年3月		中田	中田	窪田		
工事名		図面名		Scale		No.			
(仮称) あたみ認定こども園改修工事(その2)(乳児棟)		電灯設備 地階平面図(撤去)		A1:1/100 A3:1/200		E-34			
						Total		43	



1階平面図 S=1/100

1. 図示の機器及び配管、配線類は全て撤去とする。
2. 撤去後の躯体開口穴埋めは全て建築工事とする。

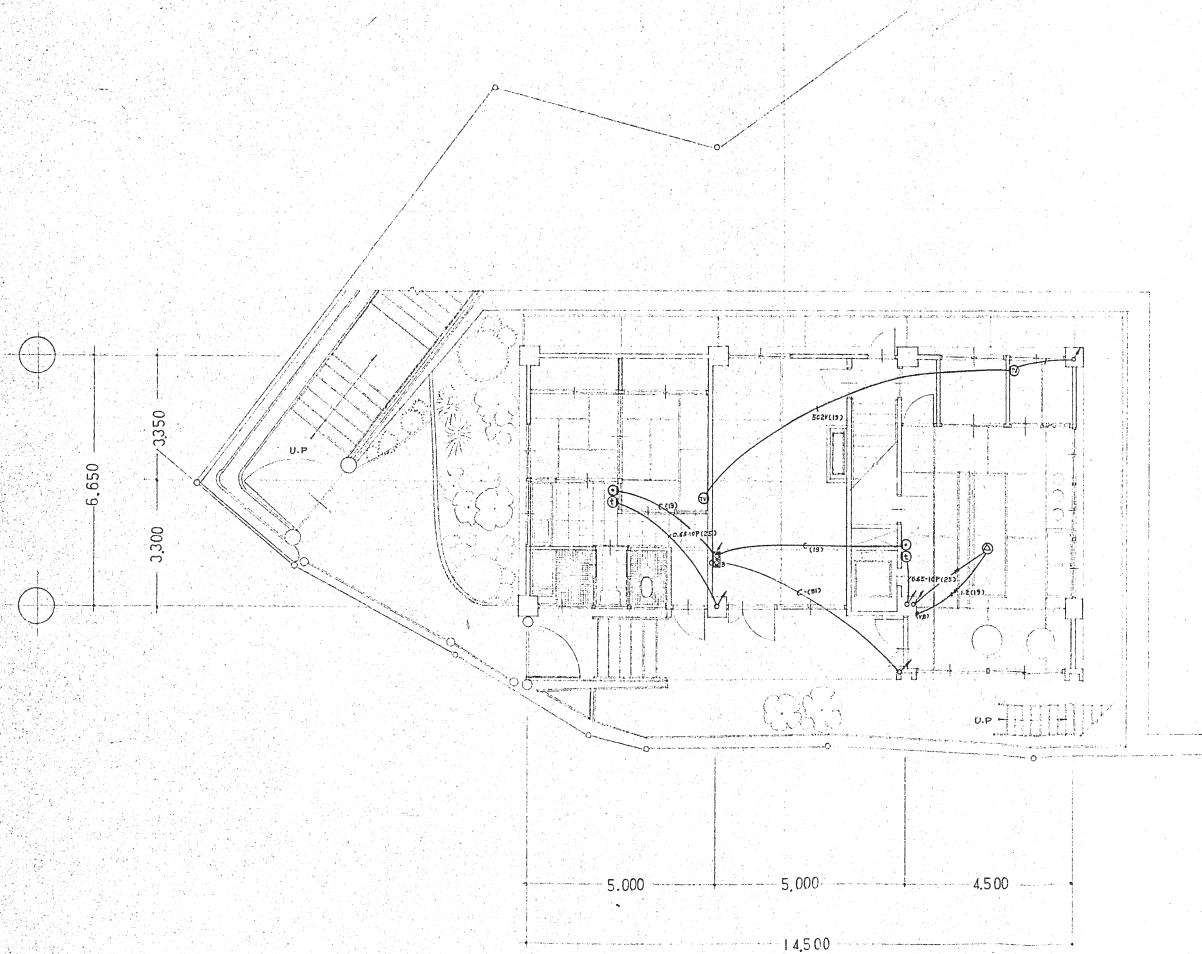
撤去図



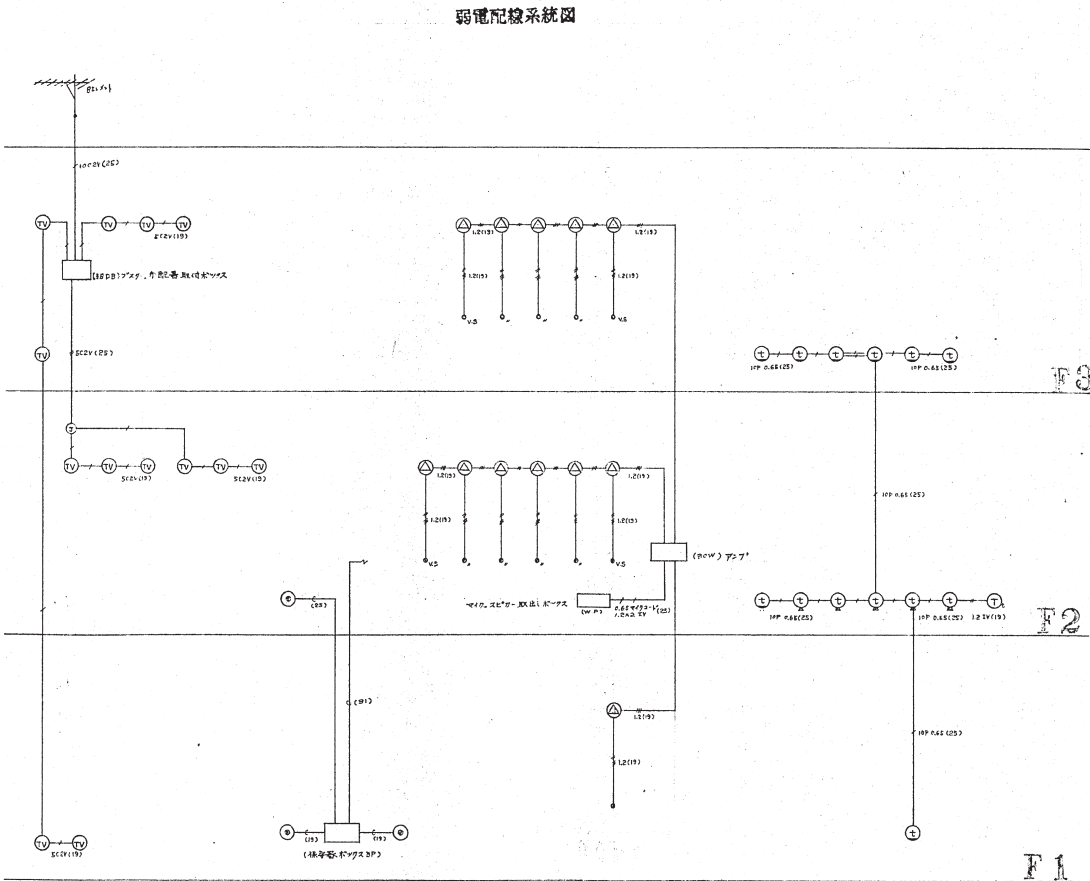
2階平面図 S = 1 / 100

- 1. 図示の機器及び配管、配線類は全て撤去とする。
- 2. 撤去後の躯体開口穴埋めは全て建築工事とする。

撤去図

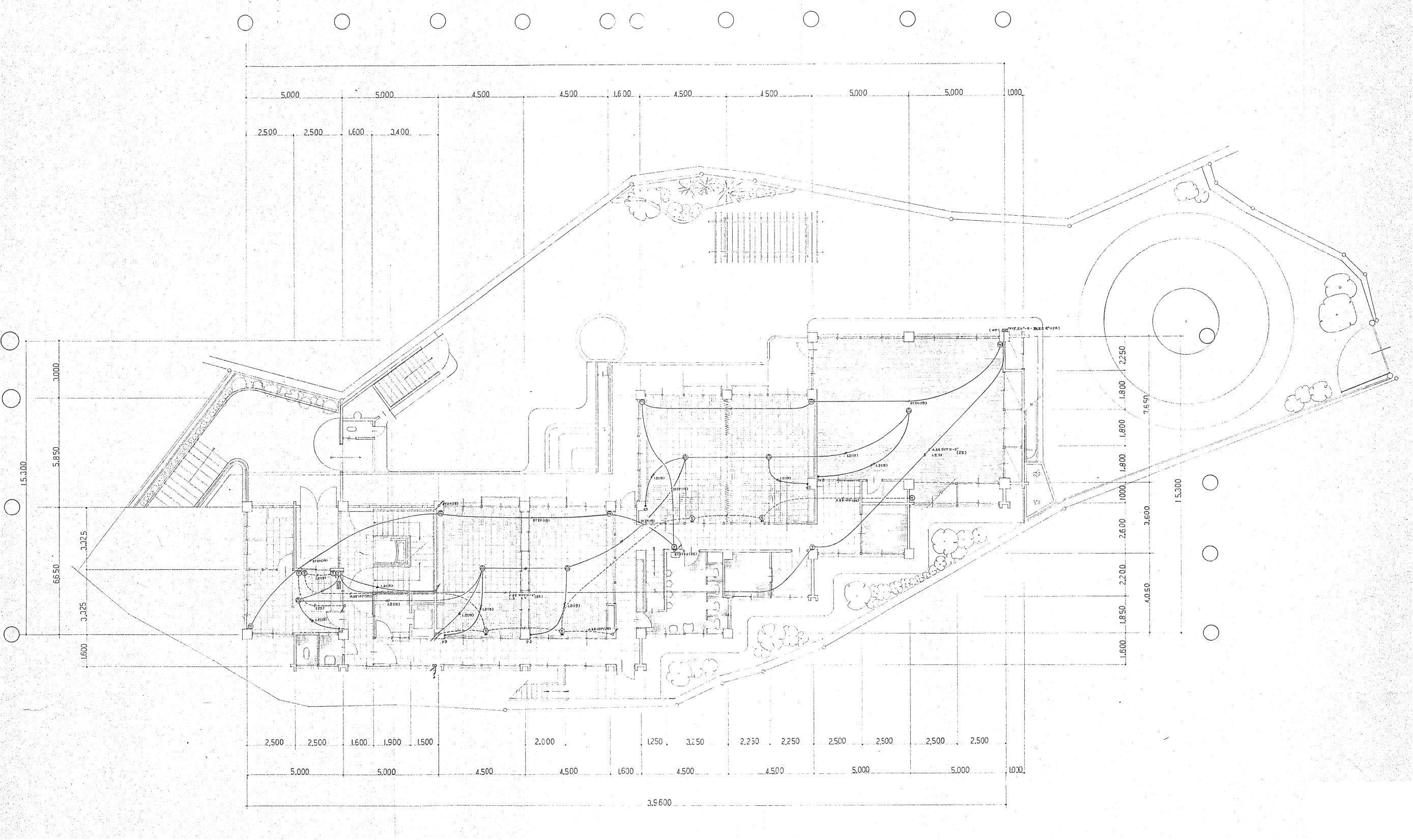


地階平面図 S=1/100



- 図示の機器及び配管、配線類は全て撤去とする。
- 撤去後の躯体開口穴埋めは全て建築工事とする。

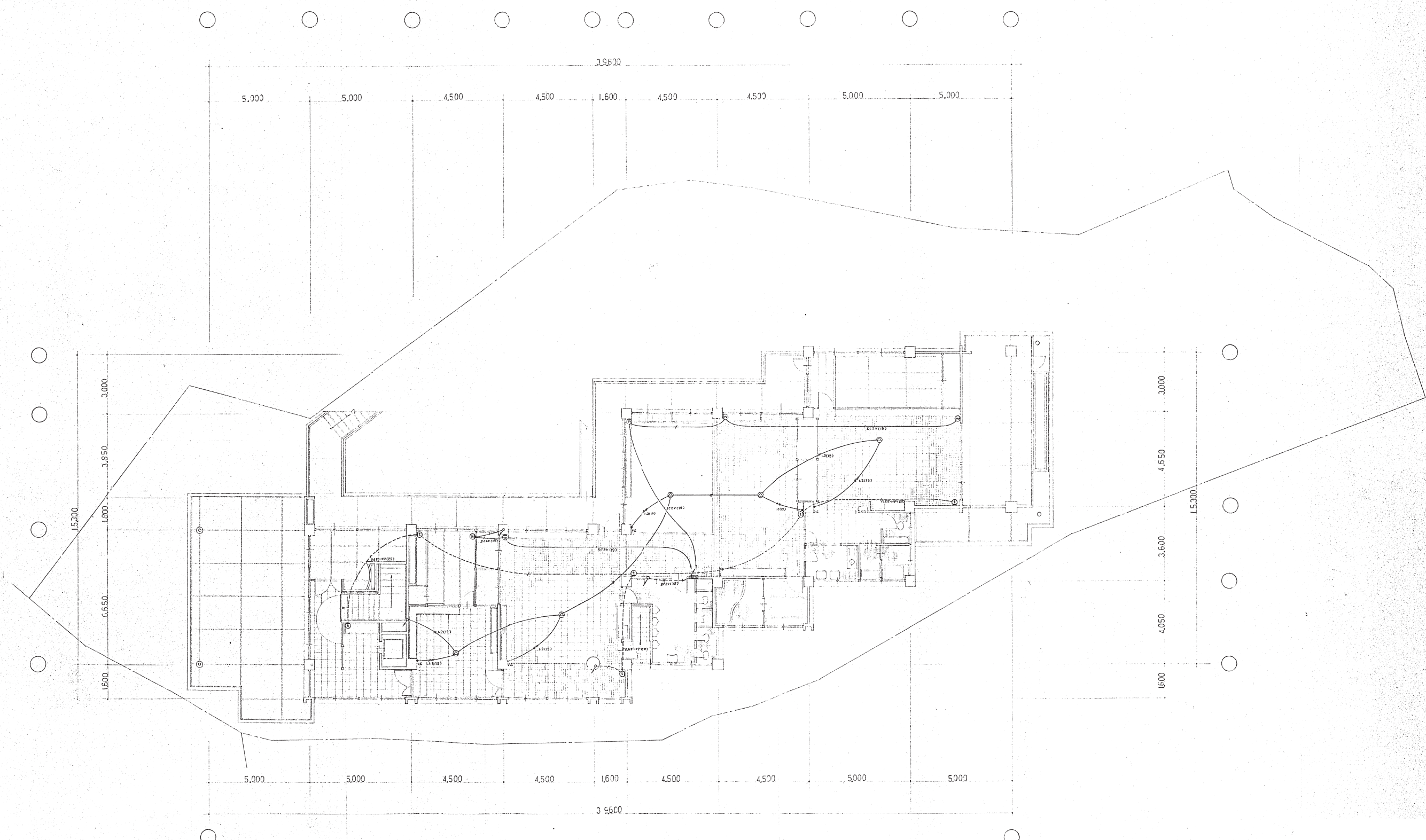
撤去図



1階平面図 S=1/100

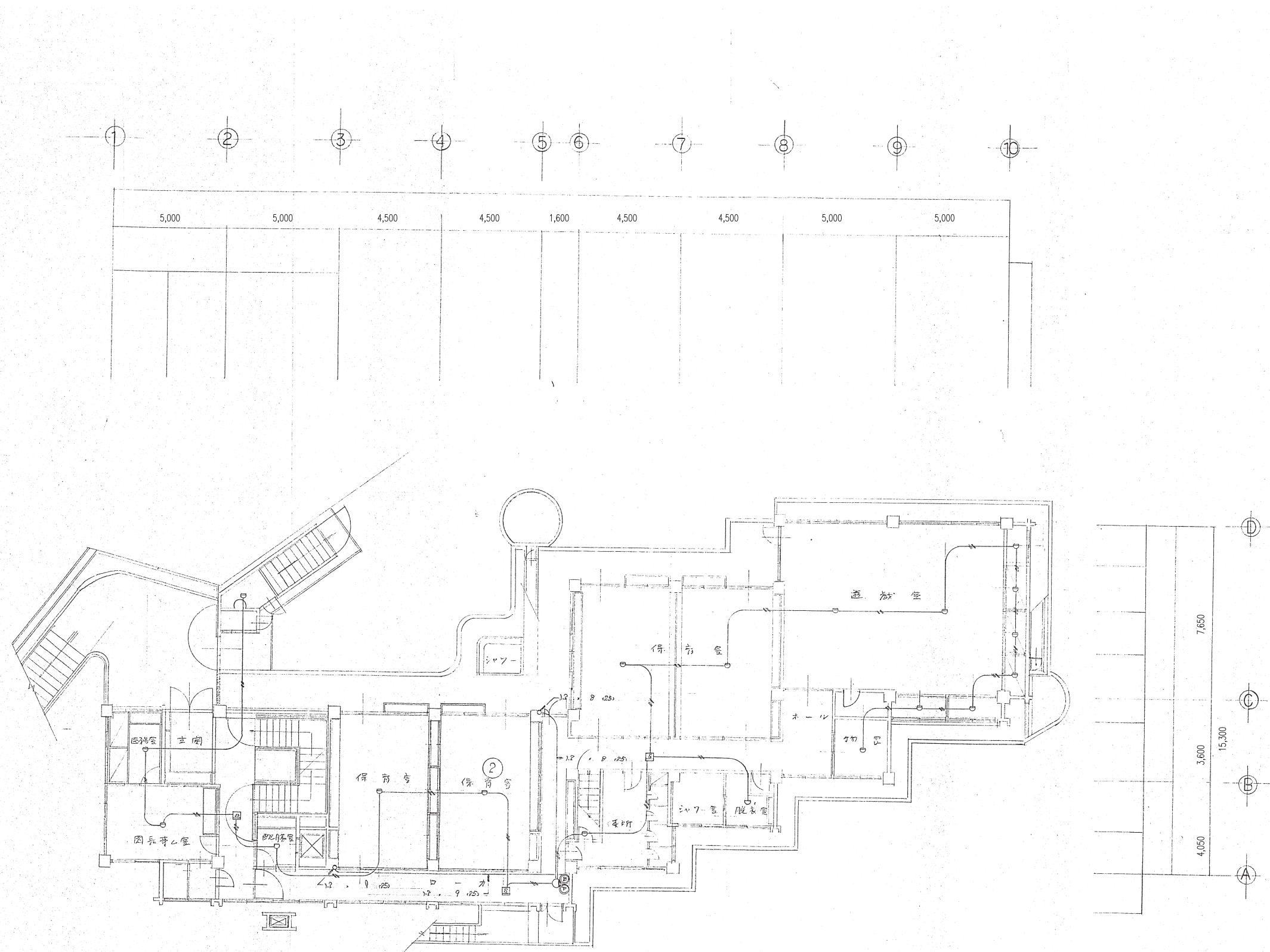
- 図示の機器及び配管、配線類は全て撤去とする。
- 撤去後の躯体開口穴埋めは全て建築工事とする。

撤去図



2階平面図 S=1/100

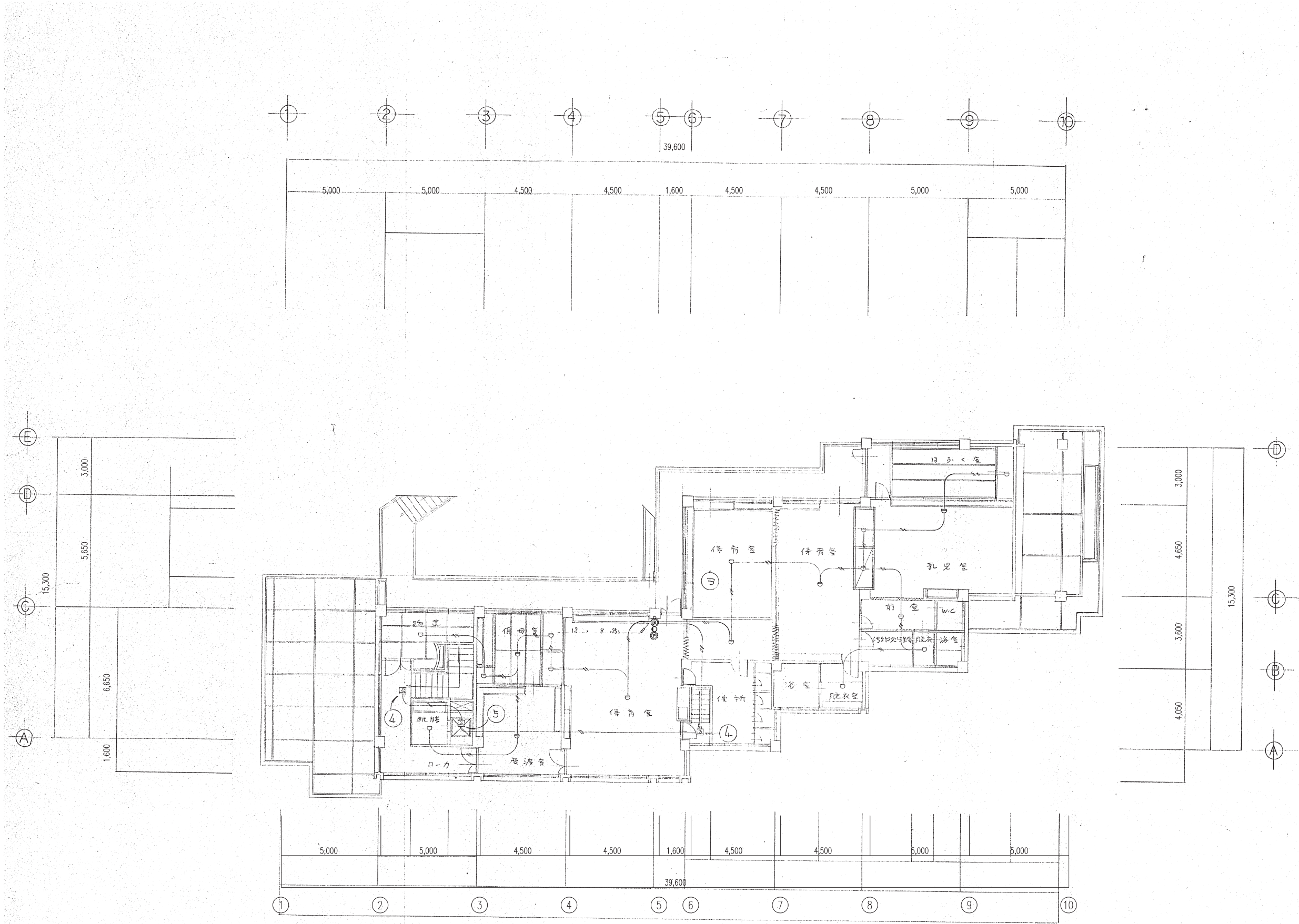
撤去図



1階平面図 S=1/100

- 1. 図示の機器及び配管、配線類は全て撤去とする。
- 2. 撤去後の躯体開口穴埋めは全て建築工事とする。

撤去図



2階平面図 S=1/100

- 1. 図示の機器及び配管、配線類は全て撤去とする。
- 2. 撤去後の躯体開口穴埋めは全て建築工事とする。

撤去図